

平成 27 年度  
坂井市教育委員会の事務の管理及び  
執行状況の点検・評価報告書

坂井市教育委員会

— 目 次 —

I	はじめに	1
II	点検・評価について	2
III	平成27年度坂井市教育委員会の活動状況	
1	教育委員会の会議開催等の状況	3
2	教育委員の活動状況	6
3	委員会、審議会等の審議状況	13
4	教育委員会関係の許認可の状況	14
IV	平成27年度の教育委員会関係事業の取組実績	
	○ 教育総務課	15
	○ 学校教育課	21
	○ 生涯学習スポーツ課	33
	○ 国体推進課	44
	○ 文化課	45
	○ 市立図書館	53
V	有識者からの意見	56

## I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月から、毎年、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

### 【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

本報告書「平成27年度坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」（以下、「点検・評価報告書」という。）は、地教行法の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と市民の皆様に対する説明責任を果たすため、市教育委員会が平成27年度の主要施策の取組結果とともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価をまとめたものです。

## II 点検・評価について

### 1 対象期間

平成27年度（平成27年4月～平成28年3月）

### 2 点検・評価方法

#### (1) 点検・評価報告書の作成

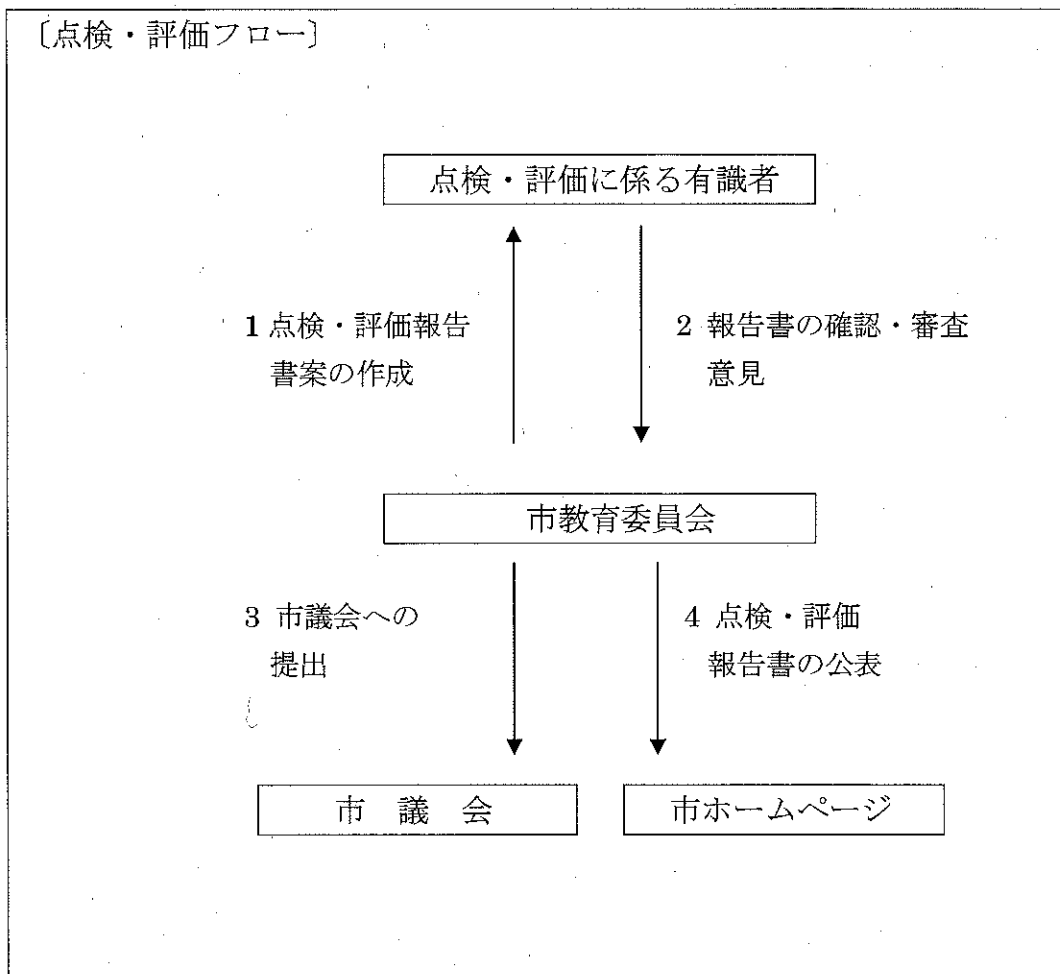
- ・ 教育委員会において点検・評価報告書案を作成

#### (2) 点検・評価報告書の確認、審査

- ・ 有識者による点検・評価報告書案の内容の確認および審査

#### (3) 点検・評価結果の公表

- ・ 点検・評価報告書を市議会に提出するとともに、市のホームページにおいて公表



### III 平成27年度 坂井市教育委員会の活動状況

#### 1 教育委員会の会議開催等の状況

##### (1) 坂井市教育委員会委員(平成26年5月11日現在)

	氏名	職業
委員長	喜多 正之	農業
委員(委員長職務代理者)	三宅 小百合	無職(保護者委員)
委員	青柳 裕	農業
委員	若松 静榮	茶道教授
委員(教育長)	川元 利夫	

##### (2) 坂井市教育委員会委員(平成27年5月11日現在)

	氏名	職業
委員長	三宅 小百合	無職(保護者委員)
委員(委員長職務代理者)	若松 静榮	茶道教授
委員	喜多 正之	農業
委員	牧田 靖夫	会社役員
委員(教育長)	川元 利夫	

##### (3) 教育委員会会議の開催状況

- ・ 開催回数 14回
- ・ 附議事項 43件

##### ○ 4月定例教育委員会〔平成27年4月23日(木)〕

- ・ 坂井市教育委員会行政組織規則の一部改正について
- ・ 坂井市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
- ・ 坂井市総合教育会議運営要綱の制定について
- ・ 坂井市学校事務共同実施組織責任者の指定について
- ・ 就学指定校の変更許可について

##### ○ 5月臨時教育委員会〔平成27年5月11日(月)〕

- ・ 坂井市教育委員会委員長の選出について
- ・ 坂井市教育委員会委員長職務代理者の選出について
- ・ 坂井市教育委員会教育委員の席次の決定について

- 5月定例教育委員会〔平成27年5月19日(火)〕
  - 坂井市全国スポーツ大会出場激励金支給要綱の一部改正について
  
- 6月臨時教育委員会〔平成27年6月15日(月)〕
  - 報告会
  
- 6月定例教育委員会〔平成27年6月23日(火)〕
  - 坂井市立幼稚園すくすく保育支援事業実施要綱の制定について
  - 坂井市教育委員会学校教育課所管補助金等交付要綱の一部改正について
  - 坂井市私立幼稚園すくすく保育支援事業補助金事務取扱要領の制定について
  - 坂井市私立幼稚園就園奨励事業費補助金事務取扱要領の一部改正について
  - 文化財の新規指定について
  - 就学指定校の変更許可について
  
- 7月定例教育委員会〔平成27年7月23日(木)〕
  - 協議
  
- 8月定例教育委員会〔平成27年8月25日(火)〕
  - 六呂瀬山古墳群調査整備委員会設置要綱の制定について
  - 丸岡城調査研究委員会設置要綱の制定について
  - みくに龍翔館リニューアル検討委員会設置要綱の制定について
  - 就学指定校の変更許可について
  
- 9月定例教育委員会〔平成27年9月17日(木)〕
  - 坂井市教育委員会行政組織規則の一部改正について
  - 坂井市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
  - 就学指定校の変更許可について
  
- 10月定例教育委員会〔平成27年10月26日(月)〕
  - 就学指定校の変更許可について
  
- 11月定例教育委員会〔平成27年11月24日(火)〕
  - 就学指定校の変更許可について
  
- 12月定例教育委員会〔平成27年12月24日(木)〕
  - 坂井市教育委員会の坂井市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する

- る条例施行規則の一部改正について
  - 受益者負担金の適正化に伴う規則の一部改正について
  - 就学指定校の変更許可について
- 1月定例教育委員会〔平成28年1月21日(木)〕
- 受益者負担金の適正化に伴う規則の一部改正について
  - 坂井市奨学育英資金貸付要綱の一部改正について
  - 坂井市教育振興基本計画の改訂について
- 2月定例教育委員会〔平成28年2月18日(木)〕
- 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について
  - 坂井市就学援助費支給要綱の一部改正について
  - 就学指定校の変更許可について
- 3月定例教育委員会〔平成28年3月21日(月)〕
- 坂井市給食費徴収規則の一部改正について
  - 坂井市立幼稚園の管理規則の一部改正について
  - 坂井市教育支援センター運営規則の制定について
  - 坂井市適応指導教室設置要綱の廃止について
  - 坂井市教育委員会学校教育課所管補助金等交付要綱の一部改正について
  - 坂井市スポーツ推進委員の承認について
  - 坂井市教育委員会文化課所管補助金等交付要綱の一部改正について
  - 坂井市文化財保護審議会委員の承認について
  - 坂井市文化未来会議委員の承認について
  - 就学指定校の変更許可について

## 2 教育委員の活動状況

時 期	委 員 名	活 動 内 容
平成27年4月1日	川元	教育委員会辞令交付式
4月2日	喜多、三宅、青柳、若松、川元	教職員着任式
	川元	坂井地区学校運営研究大会
4月4日	川元	丸岡高等学校吹奏楽部演奏会
	川元	丸岡城桜まつりセレモニー
4月6日	喜多、三宅、青柳、若松、川元	各中学校入学式
4月7日	川元	第1回坂井地区教育振興研究会
4月10日	川元	坂井地区幼稚園教育研究大会
4月13日	喜多、三宅、青柳、若松、川元	坂井市教育研究会総会・坂井地区小中学校教育研究会総会
4月14日	川元	コミュニティセンター長会議
4月15日	川元	坂井市スポーツ推進委員会 全体会
4月18日	川元	東尋坊杯招待小学生バレーボール大会
	川元	坂井市文化協会通常総会
4月21日	川元	県愛護センター連絡協議会総会
4月22日	川元	坂井地区児童生徒問題行動地域対策会議
4月23日～24日	川元	東海北陸都市教育長協議会定期総会
4月29日	川元	坂井市スポーツ少年団入団式
5月2日	川元	古城カップサッカー大会
5月9日	喜多、三宅、青柳、若松、川元	坂井市PTA連合会総会
5月10日	喜多、三宅、青柳、若松、川元	一筆啓上賞顕彰式・レセプション
5月11日	牧田、川元	教育委員辞令交付式(牧田委員)
	三宅、若松、喜多、牧田、川元	第1回総合教育会議
5月12日	三宅、若松、喜多、牧田、川元	第1回教科書採択坂井地区協議会
	川元	坂井市中高連絡協議会総会
5月15日	三宅、若松、喜多	国際交流英国派遣団報告会・解団式
5月16日	川元	坂井市成人大学開講式
5月18日	三宅、若松、喜多、川元	坂井地区合同教育委員会
5月21日～22日	川元	全国都市教育長協議会総会・研究大会
5月23日	若松、喜多、牧田、川元	平章小・高椋小・春江小・春江西小・
		東十郷小・大関小・兵庫小運動会
5月24日	川元	鳴鹿地区体育祭
5月26日	三宅、若松、喜多、牧田、川元	県市町教育委員会連絡協議会総会・研修会
5月28日	三宅、川元	福井しあわせ元気国体坂井市準備委員会第1回常任委員会
	三宅、若松	県市町女性教育委員の会 総会・研修会
5月29日	三宅、川元	青少年育成坂井市民会議 総会
5月30日	川元	日本少年野球越前東尋坊大会
	喜多、川元	明章小学校運動会
5月31日	川元	丸岡地区フレンドリーコンサート
6月1日	川元	社会教育委員の会
6月3日	三宅、若松、牧田、川元	第2回坂井市総合美術展開会式
6月7日	三宅、若松、喜多、牧田、川元	第10回坂井市古城マラソン
	川元	福井県合同読書会式典



時 期	委 員 名	活 動 内 容
6月8日	川元	6月定例会本会議
6月9日	川元	青少年愛護センター一般補導員委嘱式
6月10日	川元	坂井市文化振興事業団理事会
	川元	坂井市小学校音楽会
6月13日	川元	福井県幼・小・中PTA活動坂井地区研修会
6月14日	川元	丸岡町ジュニア陸上競技記録会
6月19日	三宅、川元	坂井地区中学校音楽会
6月21日	川元	第4回坂井市郷土芸能祭
6月24日	川元	議会（総務教育常任委員会）
6月25日	川元	坂井市文化振興事業団 評議員会
6月27日	川元	第9回誠杯少年サッカー大会
6月28日	川元	わんぱく少年団 結団式
6月29日	川元	青少年愛護センター運営委員会
6月30日	川元	6月定例会本会議・全員協議会
7月2日	三宅、若松、喜寿、牧田、川元	英国招聘事業 市長表敬訪問
7月4日	三宅、川元	社会を明るくする運動 坂井市推進大会
	三宅、若松、川元	第4回坂井市子ども文化祭
	三宅、若松、川元	坂井市民スポーツ祭開会式
7月7日	川元	坂井市文化未来会議
7月9日	川元	坂井地区結核対策委員会
7月10日	川元	特別支援教育コーディネーター連絡協議会
7月14日	川元	坂井・延岡ジュニア交流隊結団式
7月16日	川元	坂井市立図書館協議会
7月19日～20日	川元	宝くじスポーツフェア・ドリームサッカー
7月21日	川元	坂井地区小学校教育課程研究集会
7月24日	三宅、若松、喜寿、牧田、川元	第2回教科書採択坂井地区協議会
7月25日	川元	はるえいッショライでんすけまつり
7月26日	三宅、若松、喜寿、牧田、川元	国際交流英国派遣事業第1次選考会
7月27日	川元	坂井市教育研究会全体研修会
7月28日	川元	坂井市教務主任会研修会
7月29日	川元	県・市町国体準備推進会議
8月1日	川元	三国町地区対抗小学生スポーツ大会
	三宅、川元	三国中学校サマーコンサート
8月2日	川元	さかい夏祭り
8月3日	川元	臨時議会・全員協議会
	川元	北信越中学校総合競技大会開会式（サッカー競技）
8月9日	川元	2015県民スポーツ祭バウンドテニス大会
8月18日	三宅・若松	県女性教育委員の会研修会
8月20日	川元	県小学校長教育研究坂井大会
8月22日	三宅	くちなし忌
	川元	県教職員体育大会坂井大会
8月23日	三宅、若松、喜寿、牧田、川元	一筆啓上手紙の館オープニングセレモニー
	川元	英国派遣団員第二次選考会
8月24日	川元	坂井地区教頭会研修会
8月26日	川元	坂井地区教育振興研究会

時 期	委 員 名	活 動 内 容
8月26日	川元	議会（全員協議会）
9月4日	川元	9月定例会本会議
	三宅、喜彦、川元	三国中、丸岡南中体育祭
9月5日	若松、喜彦、牧田、川元	丸岡中、春江中、坂井中体育祭
9月12日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	三国南小、三国北小、雄島小、加戸小、三国西小、長畝小、磯部小、大石小、春江東小、木部小運動会
	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	丸岡南中開校10周年記念式典
9月15日	川元	9月定例会本会議（一般質問）
9月16日	川元	9月定例会本会議（一般質問）
9月17日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	第2回総合教育会議
	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	福井しあわせ元気国体坂井市準備委員会第2回総会及び実行委員会第1回総会
9月25日	川元	議会（総務教育常任委員会）
9月26日	三宅、若松、牧田、川元	こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展表彰式
9月28日	川元	坂井市文化未来会議
	三宅、牧田、川元	心の教育講演会
9月29日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	坂井市小学校連合運動会
9月30日	川元	9月定例会本会議
10月3日、4日	川元	第2回さかい九頭竜音楽コンクール
10月4日	川元	三国町民体育祭
	川元	三国中学校吹奏楽部全日本・中部吹奏楽コンクール出場記念壮行演奏会
10月8日	若松、川元	英国派遣団員オリエンテーション・全体研修
10月11日	川元	丸岡古城まつりセレモニー
10月13日	川元	坂井市文化未来会議
10月17日	川元	天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会北信越ブロックラウンド開会式
10月20日	川元	シプロ化成より寄附受贈
	三宅	男女共同参画ポスターコンクール表彰式
10月21日	川元	人権教育推進事業研究大会
10月25日	三宅、若松、川元	坂井市民文化祭 総合開会式
10月27日	川元	子育て講演会
10月30日	三宅、若松、川元	県視聴覚教育研究大会坂井地区大会
10月30日～11月3日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	坂井市民文化祭（三国、丸岡、春江、坂井会場）
11月8日	川元	全国小・中学生競技かるた選手権福井大会
	川元	坂井市社会福祉大会
11月10日	川元	不登校児童生徒支援会議
11月13日	川元	坂井市戦没者追悼式
	三宅、若松	県市町女性教育委員の会研修会
11月16日	三宅、若松、牧田、川元	坂井市国際交流事業英国派遣団結団式
11月17日	喜彦、川元	丸岡城国宝化推進委員会
11月19日～20日	川元	愛護センター全国大会
11月21日	川元	福井教育フォーラム
	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	市PTA連合会 市長・教育委員と語る会
11月22日	川元	坂井市エスキーテニス選手権大会

時 期	委 員 名	活 動 内 容
11月23日	川元	2015丸岡町体操祭
11月27日	川元	12月定例会本会議
	川元	健全育成「一筆啓上」標語コンクール表彰式
11月28日	三宅、川元	坂井市青少年健全育成推進大会
	三宅、青柳、若松、川元	男女共同参画inさかい2015
11月29日	川元	子どもミュージカル「お地蔵さんが笑った」
11月30日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	坂井地区合同教育委員会
12月4日	川元	福井大学附属小学校教育研究集会
12月5日	川元	ふるさとづくり大会
12月6日	川元	坂井市女性の会 会員のつどい
12月14日	川元	議会(総務教育常任委員会)
12月17日	川元	12月定例会本会議
12月19日	川元	FBCかがやき基金応援金贈呈式
12月20日	三宅、喜彦、川元	ハートピア春江開館20周年記念「第九」合唱
12月25日	川元	福井県幼児教育フォーラム
1月7日	川元	坂井地区教育振興研究会
1月10日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	平成28年成人式
1月12日	川元	ふくしのつどい
1月13日	川元	パナソニック図書贈呈式
1月14日	川元	みくに龍翔館リニューアル検討委員会
	川元	坂井自治区長会
1月17日	川元	坂井市小学生親善かるた大会
	三宅、川元	坂井市体育協会新春のつどい
1月20日	川元	丸岡自治区長会
1月20日～21日	川元	品川区教育委員会行政視察
1月22日	川元	坂井ブロック社会教育委員研修会
1月25日	川元	県文化協会新春のつどい
1月26日	川元	第8回B&G全国サミット
1月29日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	一筆啓上賞発表式
1月29日	川元	春江自治区長会
1月31日	川元	坂井市長杯市民将棋大会
	三宅、喜彦、牧田、川元	ざぶん賞福井県地区表彰式
2月5日	川元	三国自治区長会
2月6日	川元	まちづくり協議会活動発表会
2月7日	川元	三国町地区対抗小学生スポーツ大会
	川元	坂井市日中友好協会 春節祝賀会
2月9日	川元	坂井地区学校運営研究大会
2月11日	川元	坂井市民競技かるた大会
2月14日	川元	三国町オープンバウンドテニス交流大会
2月15日	川元	「大豆入麦茶」寄付金贈呈式
2月20日	川元	坂井地区キャリア教育推進フォーラム
	川元	坂井市成人大学閉講式
2月23日	川元	議会(3月定例会本会議)
3月2日	喜彦	丸岡高等学校卒業式
	三宅	三国高等学校卒業式

時 期	委 員 名	活 動 内 容
3月3日	川元	坂井農業高等学校卒業式・閉校式
	牧田	丸岡高等学校城東分校卒業式
	川元	坂井地区幼稚園教育研究会総会
3月5日	川元	春江工業高等学校卒業式・閉校式
3月6日	川元、三宅、喜寿	梨一賞表彰式
3月7日	川元	3月定例会本会議
3月8日	川元	3月定例会本会議
3月9日	川元	3月定例会本会議
3月11日	三宅、喜寿、牧田、川元	各中学校卒業式
3月12日	三宅、若松、喜寿、牧田、川元	教育委員会表彰式
3月15日	川元	議会（総務教育常任委員会）
3月17日	三宅、喜寿、牧田、川元	小学校卒業式
3月18日	三宅、喜寿、牧田、川元	小学校卒業式
3月31日	三宅、若松、喜寿、牧田、川元	教職員離任式

※教育委員会会議は、前項に開催状況の記載があるため本表からは除いてあります。  
 ※指導主事訪問および全国大会出場激励会は、別途一覧表があるため、本表からは除いてあります。

全国大会激励会

時 期	委 員 名	活 動 内 容
4月30日	川元	全国大会出場激励会 (少年柔道)
6月5日	川元	全国大会出場激励会 (バウンドテニス)
	川元	国際大会出場激励会 (女子フットサル)
7月14日	川元	全国大会出場激励会 (社会人3団体)
7月16日	川元	全国大会出場激励会 (インターハイ)
7月17日	川元	全国芸術大会出場激励会 (放送部門)
7月21日	川元	全国大会出場激励会 (女子フットサル)
7月28日	川元	全国大会出場激励会 (定時制インターハイ)
8月4日	川元	全国大会出場激励会 (小学生・中学生空手道選手権大会)
8月7日	川元	国際大会出場報告 (トライアスロン)
	川元	全国大会出場激励会 (大学軟式野球・成人ハンドボール・レディースソフトテニス)
8月12日	川元	全国中学校体育大会激励会
	川元	全国大会出場激励会 (小学生陸上・少年柔道・全中硬式テニス・高専)
8月21日	川元	全国大会優勝報告会 (卓球)
8月24日	川元	全国大会出場激励会 (成人男子ソフトボール・成人男子クラブ野球)
9月4日	川元	国民体育大会出場者激励会
9月15日	川元	全国大会出場激励会 (マスターズ)
10月8日	川元	全国大会出場激励会 (社会人サッカー選手権)
	川元	全国大会出場激励会 (少年柔道・ジュニア陸上)
11月2日	川元	全国大会出場激励会 (女子フットサル・少林寺拳法)
11月26日	川元	全国大会出場激励会 (チアダンス・バトン)
12月7日	川元	全国大会出場激励会 (マーチングバンド)
12月14日	牧田、川元	全国大会出場激励会 (全国高校サッカー、少年サッカー)
12月15日	川元	全国大会出場激励会 (中学生バレーボール)
平成28年1月6日	川元	全国大会出場激励会(女子フットサル)
1月13日	川元	全国高校サッカー選手権大会出場報告会
2月5日	川元	冬季ユース五輪出場激励会(スノーボードクロス)
2月12日	川元	激励会(全米チアダンス、女子サッカー)
2月26日	川元	全国大会出場激励(吹奏楽部アンサンブルコンテスト)
3月14日	川元	全国大会出場激励会 (高校生・中学生)

指導主事学校訪問

時 期	委 員 名	活 動 内 容	
前期	5月13日	三宅、若松、川元	指導主事学校訪問 (三国南小・幼)
	5月14日	三宅、若松、喜彦、川元	指導主事学校訪問 (春江小・幼)
	5月21日	三宅、若松、喜彦、牧田	指導主事学校訪問 (鳴鹿小)
	5月22日	三宅、若松、牧田	指導主事学校訪問 (坂井中)
	5月28日	喜彦、川元	指導主事学校訪問 (三国西小)
	5月29日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	指導主事学校訪問 (春江中)
	6月3日	若松、喜彦、牧田、川元	指導主事学校訪問 (丸岡中)
	6月4日	三宅、喜彦、牧田、川元	指導主事学校訪問 (大関小)
	6月5日	三宅、喜彦、牧田、川元	指導主事学校訪問 (木部小)
	6月11日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	指導主事学校訪問 (三国中)
	6月16日	三宅、若松、牧田、川元	指導主事学校訪問 (高椋小・幼)
	6月17日	三宅、若松、牧田、川元	指導主事学校訪問 (丸岡南中)
	6月18日	三宅、若松、牧田、川元	指導主事学校訪問 (大石小)
	6月23日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	指導主事学校訪問 (雄島小)
	6月24日	若松、喜彦、牧田	指導主事学校訪問 (東十郷小)
	6月26日	三宅、若松、牧田、川元	指導主事学校訪問 (平章小)
6月30日	三宅、若松、川元	指導主事学校訪問 (磯部小・幼)	
後期	10月8日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	指導主事学校訪問 (磯部小)
	10月9日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	指導主事学校訪問 (坂井中)
	10月14日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	指導主事学校訪問 (長畝小)
	10月15日	三宅、若松、牧田、川元	指導主事学校訪問 (加戸小)
	10月16日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	指導主事学校訪問 (兵庫小)
	10月22日	三宅、若松、川元	指導主事学校訪問 (丸岡中)
	10月27日	三宅、若松、牧田、川元	指導主事学校訪問 (三国北小)
	10月30日	川元	指導主事学校訪問 (春江中)
	11月5日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	指導主事学校訪問 (春江小)
	11月11日	三宅、若松、喜彦、川元	指導主事学校訪問 (高椋小)
	11月13日	若松、喜彦、川元	指導主事学校訪問 (丸岡南中)
	11月17日	三宅、若松、川元	指導主事学校訪問 (三国中)
	11月18日	三宅、若松、喜彦、牧田、川元	指導主事学校訪問 (春江西小)
	11月25日	若松、喜彦、三宅	指導主事学校訪問 (春江東小)
11月27日	若松、喜彦、牧田	指導主事学校訪問 (明章小)	

3 委員会、審議会等の審議状況

名称	委員数	会議開催数	件名	種別	年月日
坂井市社会教育委員の会	15(4)	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度社会教育関係事業の概要について</li> <li>放課後子どもプランについて</li> <li>合宿通学事業について</li> </ul>	協議	H27.6.1 H27.12.17
坂井市図書館協議会	11(6)	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の概要について</li> <li>平成26年度事業報告について</li> <li>平成26年度決算報告について</li> <li>平成27年度事業計画について</li> <li>平成27年度坂井市立図書館利用状況、各館の行事報告及びブックスタート事業の経過報告について</li> <li>平成28年度主要事業および予算の概要について</li> </ul>	協議	H27.7.16 H28.2.25
坂井市スポーツ推進委員会	46(14)	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度事業計画について</li> <li>スポーツ推進委員会及び各部会の運営について</li> <li>北陸地区スポーツ推進委員委員研修会について</li> <li>ウォークラリー大会について</li> <li>スポレッシュ教室について</li> <li>マリン体操普及推進について</li> <li>ケーブルテレビによるスポーツ推進委員活動紹介について</li> <li>平成27年度事業活動について</li> <li>平成28年度事業計画について</li> </ul>	協議	H27.4.6 H27.4.15 H27.4.22 H27.5.8 H27.5.11 H27.5.29 H27.6.13 H27.6.22 H27.6.27 H27.7.13 H27.8.19 H27.8.26 H27.11.16 H27.11.20 H28.1.27 H28.2.15 H28.2.16 H28.3.2 H28.3.31
坂井市教育支援委員会	37(31)	7	<p>教育支援委員会 園児児童生徒の就学先を個別に判断・決定に関すること</p> <p>教育支援委員専門委員会                      専門家を招いて園児児童生徒の就学相談に関すること</p>	協議	H27.4.16 H27.6.9 H27.7.9 H27.8.6 H27.11.19 H28.1.21
坂井市青少年愛護センター運営委員会	20(4)	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛護センターの事業報告</li> <li>愛護センターの事業計画</li> <li>青少年の動向</li> <li>補導活動、相談業務</li> </ul>	協議	H27.6.29 H28.3.9
坂井市文化財保護審議会	9(0)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度事業報告</li> <li>今年度事業計画について</li> <li>文化財の新規指定について(答申)豊原寺木造阿弥陀如来坐像・薬師如来坐像</li> <li>文化財の説明看板の設置について</li> <li>年度末の事業報告</li> <li>調査に伴う現地視察(新保区春日神社 石造物)</li> </ul>	協議 視察	H27.6.11 H27.11.18 H27.12.3 H28.3.10
坂井市文化未来会議	12(4)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども、若者の文化活動について</li> <li>手紙の館の概要、今年度の視察研修について</li> <li>先進地視察研修(滋賀県草津市・甲賀市)</li> <li>文化教育普及活動について</li> </ul>	協議 視察	H27.7.7 H27.9.28 H27.10.13 H28.3.28
丸岡城調査研究委員会	11(1)	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>丸岡城調査研究事業の計画について</li> <li>平成27年度丸岡城調査研究事業の成果報告について</li> </ul>	協議	H27.11.17 H28.3.29
みくに龍翔館リニューアル検討委員会	9(1)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>みくに龍翔館の概要および現状と課題について</li> <li>今後のリニューアル計画について</li> </ul>	協議	H28.1.14

※委員数のうち( )内は女性の委員数

#### 4 教育委員会関係の許認可の状況

##### (1) 文化財の指定状況

<指定文化財の現状>

平成28年3月31日現在

区 分	国			県指定	市指定	計
	指定	選定・選択	登録			
国 宝	1					1
重要文化財	9					9
有形文化財				19	34	53
無形文化財						0
重要有形民俗文化財						0
有形民俗文化財					1	1
重要無形民俗文化財						0
無形民俗文化財				5	6	11
特別史跡						0
史 跡	2			3	12	17
特別名勝						0
名 勝	1					1
特別天然記念物						0
天然記念物	1			3	6	10
特別名勝天然記念物						0
名勝天然記念物	1					1
重要伝統的建造物群 保存地区						0
選定保存技術						0
登録有形文化財			10			10
登録記念物			1		6	7
合 計	15	0	11	30	65	121



平成27年度

事業別施策の成果報告書

坂井市教育委員会

予算	款	10	教育費	01	教育総務費	目	01	教育委員会費	決算書
大事業	001	教育委員会運営事業			P. 187				
中事業	01	教育委員会運営事業			所管 教育委員会事務局 部局 教育総務課				
予算額	当初	決算額			不用額				
前年度		2,874	千円	2,765	千円	109	千円		
主な特定財源		3,051	千円	3,029	千円	22	千円		
【事業の目的】 生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる、教育行政を一体的に推進し、創造的で人間性豊かな人材の育成を図る。また、学校教育、社会教育・体育及び芸術分野での優秀な成績、活躍に対し表彰し、一層の振興を図る。									
【事業の概要】 ◆教育委員会運営事業 ○教育委員報酬 2,657 千円 ○旅費（費用弁償） 2,520 千円 ○需用費（印刷製本費他） 6 千円 ○負担金（京都市町教育委員会連絡協議会負担金他） 49 千円 （うち、教育機関での開催数） 82 千円 14 回（3回） ◆教育委員会表彰事業 108 千円 ○報償費（記念品等） 98 千円 ○需用費（消耗品費） 10 千円									
市教育委員会表彰内訳									
功労賞		16名		計		16件			
功績賞		1団体・6名		計		7件			
奨励賞		3団体・4名		計		7件			
【事業の成果と改善点等】 月1回の定例会および臨時会合わせて年間14回の教育委員会を開催し、教育行政についで協議を行った。									

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	02	事務局費
大事業	051	教育委員会事務局事業			決算書 P. 189				
中事業	01	教育委員会事務局事業			所管 教育委員会事務局 部局 教育総務課				
予算額	当初	補4号			不用額				
前年度		13,396	千円	11,912	千円	1,484	千円		
主な特定財源		10,329	千円	8,981	千円	1,348	千円		
予算流用(増減)額		教育振興指定寄附金 奨学金英資金貸付金収入			△57 千円 予備費充用額				
【事業の目的】 教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の運営調整を図る。また、施設の適切なエネルギー管理に取り組み省エネ対策を推進する。									
【事業の概要】 ◆教育委員会事務局事業 11,412 千円 ○旅費（教育長・職員出張旅費） 186 千円 ○交際費（教育長交際費） 361 千円 ○需用費（消耗品・書籍等） 685 千円 ○委託料 1,277 千円 ○使用中及び賃借料 725 千円 ・ 中高連絡協議会事業委託料 552 千円 ・ 土地建物鑑定評価委託料 ○使用料及び賃借料 347 千円 ・ 車両借上料 228 千円 ・ 工事積算システム使用料 119 千円 ○負担金、補助及び交付金 7,356 千円 ・ 坂井地区教育振興会負担金 3,360 千円 ・ その他負担金（北信越中学校総合競技大会開催地負担金他） 396 千円 ・ 小中学校教育振興費奨励金他 3,600 千円 ○貸付金（奨学金英資金貸付者 6人） 1,200 千円									
◆省エネ対策事業 500 千円 ○旅費（職員出張旅費） 9 千円 ○委託料（省エネコンサル委託料） 491 千円									
【事業の成果と改善点等】 教育行政全般にわたる事務調整、県及び他市との情報交換と連携に努めた。また、省エネ対策事業を実施したこと、省エネを意図した施設管理ができた。									

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 01 学校管理費	決 算 書
大事業	051 小学校管理事業			P. 191
中事業	01 小学校管理事業			教育委員会事務局 教育総務課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
	282,406 千円	265,557 千円	16,849 千円	
前年度	269,951 千円	260,797 千円	9,154 千円	
主な 特定 財源	収入	教育費雑入	47 千円	
予算流用(増減)額		19,827 千円	予備費充用額	千円

【事業の目的】  
市内の小学生在が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内19小学校施設の適正な維持管理を行う。

【事業の概要】

◆小学校管理事業 本庁 178,937 千円

- 賃金（臨時職員用務員） 14,370 千円
- 旅費（用務員） 275 千円
- 需用費（ブルー用消毒剤・修繕料他） 20,920 千円
- 役務費（火災保険他） 5,031 千円
- 委託料（各種保守点検委託料他） 33,519 千円
- 使用料及び賃借料（土地借上料、教育用コンピューター他） 85,543 千円
- 工事請負費（遊具修繕工事、屋上防水改修工事他） 12,460 千円
- 原材料費（机天板、椅子座面、川砂等） 2,390 千円
- 備品購入費（消火器、乾式滅菌器等） 4,429 千円

◆小学校管理事業 各小学校 85,451 千円

- 市内19小学校にて対応する維持管理費
- 需用費（消耗品費・光熱水費等） 76,540 千円
- 役務費（通信運搬費等） 4,603 千円
- 委託料（各種保守点検料） 2,352 千円
- 使用料及び賃借料（複写機リース料等） 1,956 千円

【次頁へ】...

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 01 学校管理費	決 算 書
大事業	051 小学校管理事業			P. 191
中事業	01 小学校管理事業			教育委員会事務局 教育総務課

…【前頁より】

◆省エネ対策事業 1,169 千円  
○使用料及び賃借料  
デマンド監視サービス使用料（全小学校分） 1,169 千円

【事業の成果と改善点等】  
市内19小学校の適正な維持管理を行い、充実した学校教育を推進するため教育環境の改善に努めた。また、エアコン導入に伴い、今後は需用費の増加が見込まれるが、平成27年度より全小学校に導入したデマンド監視サービスを活用し、積極的な省エネ対策に取り組みたい。

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 01 小学校管理費	決 算 書
大事業	101 小学校施設整備事業			P. 193
中事業	01 小学校施設整備事業		所管 部局	教育委員会事務局 教育総務課
予算額	当初 補5号	決 算 額	不 用 額	
	879,139 千円	878,045 千円	1,094 千円	
前年度	1,338,874 千円	1,272,845 千円	66,029 千円	
主な 特定財源	国庫補助金 市債	学校施設環境改善交付金(地震補強) 他 合併特別事業債 他	191,838 千円 595,683 千円	
予算流用(増減)額		△ 19,827 千円	予備費充用額	千円

【事業の目的】  
小学校の耐震補強を図り、児童の安全安心を確保し、災害に備えるための整備を施設整備計画に基づき行う。

【事業の概要】

- 役務費
  - ・ 申請手数料 75千円
  - ・ 検査手数料 67千円
  - ・ 8千円
- 委託料 18,252千円
  - ・ 磯部小屋内運動場 耐震改修工事監理委託料 3,780千円
  - ・ 春江西小学校舎屋内運動場 耐震改修工事監理委託料 3,024千円
  - ・ 大石小南校舎 耐震補強工事監理委託料 540千円
  - ・ 兵庫小学校舎 耐震改修工事監理委託料 5,616千円
  - ・ 木部小学校舎 耐震改修工事監理委託料 5,292千円
- 工事請負費 859,718千円
  - ・ 磯部小屋内運動場 耐震改修工事 157,723千円
  - ・ 春江西小学校舎屋内運動場 耐震改修工事 102,600千円
  - ・ 大石小南校舎 耐震補強工事 4,914千円
  - ・ 兵庫小学校舎 耐震改修工事 289,095千円
  - ・ 木部小学校舎 耐震改修工事 266,557千円
  - ・ 高棟小グラウンド改修工事 16,689千円
  - ・ 春江西小グラウンド改修工事 22,140千円

【事業の成果と改善点等】  
耐震改修においては、児童の安全安心を図り地域住民の避難場所としての機能を確立し、施設整備計画に沿った整備を行った。

【事業の目標値と実績等】

成果目標	目標値	実績値	備考
耐震化率	100%	100%	H27年度完了(H26年度:93%)

予 算 款	10 教育費	項 03 中学校費	目 01 中学校管理費	決 算 書
大事業	051 中学校管理事業			P. 195
中事業	01 中学校管理事業		所管 部局	教育委員会事務局 教育総務課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
	107,543 千円	100,191 千円	7,352 千円	
前年度	112,635 千円	100,906 千円	11,729 千円	
主な 特定財源	繰入金 教育費雑入		286 千円	
予算流用(増減)額		2,812 千円	予備費充用額	千円

【事業の目的】  
市内の中学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内5中学校施設の適正な維持管理を行う。

【事業の概要】

- ◆ 中学校管理事業 本庁 56,413 千円
  - 賃金(臨時職員用務員) 2,056 千円
  - 旅費(用務員) 8 千円
  - 需用費(修繕料他) 2,715 千円
  - 役員費(火災保険他) 1,366 千円
  - 委託料(各種保守点検委託料他) 17,221 千円
  - 使用料及び賃借料(土地借上料、教育用コンピューター他) 28,179 千円
  - 原材料費(机天板・椅子座面・川砂等) 878 千円
  - 備品購入費(プロジェクター、牛乳保冷庫 等) 3,990 千円
- ◆ 中学校管理事業 各中学校 43,475 千円
  - 市内5中学校にて対応する維持管理費
  - 需用費(消耗品費・光熱水費等) 39,392 千円
  - 役員費(通信運搬費) 2,163 千円
  - 委託料(各種保守点検料) 1,288 千円
  - 使用料及び賃借料(複写機リース料等) 632 千円

予算	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費
大事業	051	中学校管理事業				決算書 P. 195
中事業	01	中学校管理事業				所管 教育局 教育総務課
…【前頁より】						
◆省エネ対策事業 303 千円						
○使用料及び賃借料 303 千円						
テマンド監視サービス使用料（全中学校分）						
【事業の成果と改善点等】						
市内5中学校の適正な維持管理を行い、充実した学校教育を推進するため教育環境の改善に努めた。また、エアコン導入に伴い、今後は需用費の増加が見込まれるが、平成27年度より全中学校に導入したテマンド監視サービスを活用し、積極的な省エネ対策に取り組みたい。						

予算	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費
大事業	101	中学校施設整備事業				決算書 P. 197
中事業	01	中学校施設整備事業				所管 教育局 教育総務課
予算額	当初	補5号	決算額			不用額
			1,103,016 千円	944,438 千円		158,578 千円
前年度			1,660,347 千円	1,510,383 千円		149,964 千円
主な特定財源			国库補助金 市債 学校施設環境改善交付金（地震補強） 合併特例事業債 他			96,472 千円 640,517 千円
予算流用(増減)額			△2812 千円	予備費充用額		千円
【上記決算額内訳】						
	当該年度分	予算額	1,048,773 千円	決算額		891,599 千円
	前年度繰越分	繰越分予算額	54,243 千円	繰越分決算額		52,839 千円
		翌年度への繰越額	151,838 千円			
【事業の目的】						
中学校の耐震補強を図り、生徒の安全安心を確保し、災害に備えるための整備を施設整備計画に基づき行う。						
【事業の概要】						
○役務費 67 千円						
・申請手数料 34 千円						
・検査手数料 33 千円						
○委託料 7,968 千円						
・三国中学校 耐震改修工事監理委託料 7,968 千円						
○工事請負費 934,372 千円						
耐震補強工事						
三国中学校						
・北校舎耐震改修工事 567,000 千円						
・仮設校舎建設工事 85,223 千円						
・耐震改修電気工事 110,730 千円						
・耐震改修設備工事 115,184 千円						
三国中グラウンド改修工事 46,893 千円						
丸岡中グラウンド改修工事 9,342 千円						
【次頁へ】...						

予 算 款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費	決 算 書
大 事 業	101 中学校施設整備事業					P. 197
中 事 業	01 中学校施設整備事業				所管 部局	教育委員会事務局 教育総務課

…【前頁より】

- 備品購入費 2,031千円
- ・三国中学校 施設備品 他 2,031千円

【事業の成果と改善点等】  
耐震改修においては、生徒の安全安心を図り地域住民の避難場所としての機能を確立し、施設整備計画に沿った整備を行った。

【事業の目標値と実績等】

成果指標	目標値	実績値	備考
耐震化率	100%	100%	H27年度完了 (H26年度: 94%)

予 算 款	10 教育費	項	04 幼稚園費	目	01 幼稚園総務費	決 算 書
大 事 業	101 幼稚園施設整備事業					P. 201
中 事 業	01 幼稚園施設整備事業				所管 部局	教育委員会事務局 教育総務課
予 算 額	当初 補5号		決 算 額		不 用 額	
	247,206千円		246,813千円		393千円	
前年度	37,751千円		36,899千円		852千円	
主な 特定 財源	国庫補助金 市債		学校施設環境改善交付金(地震補強) 他		70,232千円 145,600千円	
予算流用(増減)額			△ 2,794千円		予備費弁用額	千円

【事業の目的】

幼保一元化の方向性に基づき、一元化後も存続する園舎の耐震補強を図り、園児の安全安心を確保し幼児教育需要等に対応できる施設整備等を行い、幼児教育環境の充実に努める。

【事業の概要】

- 委託料
  - ・三国南幼稚園 耐震改修工事監理委託料 6,156千円
  - ・春江幼稚園 耐震改修工事監理委託料 2,916千円
  - ・春江幼稚園 耐震改修工事監理委託料 3,240千円
- 工事請負費
  - ・三国南幼稚園 耐震改修工事 240,657千円
  - ・春江幼稚園 耐震改修工事 111,219千円
  - ・春江幼稚園 耐震改修工事 129,438千円

【事業の成果と改善点等】  
耐震改修においては、園児の安全安心を図るため、施設整備計画に沿った整備を行った。

【事業の目標値と実績等】

成果指標	目標値	実績値	備考
耐震化率	100%	100%	H27年度完了 (H26年度: 70%)

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 07 社会教育施設費
大 事 業	001 キンダーホール管理運営事業		決 算 書 P. 207
中 事 業	01 キンダーホール管理運営事業		所 管 部 局 教育委員会事務局 教育総務課
予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額
前年度	1,406 千円	1,291 千円	115 千円
主 な 財 源	3,358 千円 教育費雑入	2,976 千円	382 千円 12 千円 千円 千円

【事業の目的】  
放課後の児童・生徒の居場所として当該施設を開放するとともに、地域住民の集会等の開催場所として貸し出すこと等により、青少年の健全育成や地域コミュニティの活性化を図る。

【事業の概要】

- 賃金（臨時職員） 952 千円
- 需用費（燃料費、光熱水費、修繕料） 273 千円
- 役務費（電話料・火災保険料） 43 千円
- 使用料（放送受信料） 23 千円

【開館時間】 月・火・水・木・金（午後3時～6時）  
（土曜日・日曜日・祝日・祭日・年末年始は休館）

【児童・生徒の利用状況】 単位：人

	年間利用者数	1日平均利用者数
平成27年度	2,460	10.0
平成26年度	1,942	7.9
平成25年度	1,194	4.8
平成24年度	1,882	7.5
平成23年度	1,882	7.5

【事業の成果と改善点等】  
施設の有効利用を図ることを目的に、地元と委譲に向けた協議を行うとともに、放課後の子どもたちの居場所づくりとして必要な施設管理を行った。

予 算 款	13 諸支出金	項 02 基金費	目 14 教育振興整備基金費
大 事 業	001 教育振興整備基金		決 算 書 P. 229
中 事 業	01 教育振興整備基金		所 管 部 局 教育委員会事務局 教育総務課
予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額
前年度	41 千円	25 千円	16 千円
主 な 財 源	1,041 千円 教育振興整備基金利子	1,030 千円	11 千円 25 千円 千円 千円

【事業の目的】  
坂井市の将来を担う子どもたちを健全に育成することを目的とした教育の振興及び教育施設の環境整備に必要な財源に充てるため、教育振興整備基金を設置している。

【事業の概要】

- 積立金 25 千円
- ・教育振興整備基金利子

平成26年度末 現在高 ①	平成27年度中増減額		平成27年度末 現在高 ①-②+③
	取崩額 ②	積立額 ③	
36,295 千円	0 千円	25 千円	36,320 千円

【事業の成果と改善点等】  
利子分を積み立て、適切に基金管理を行った。

予算款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	01 教育委員会費
大事業	051 教育相談事業				決算書 P. 187
中事業	01 教育相談事業				所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初	決算額	不	用	額
前年度	12,523 千円	12,237 千円	286 千円		
主な 特定 財源	12,808 千円	10,851 千円	1,957 千円		
	県支出金	スクールソーシャルワーカー活用事業委託金	1,088 千円		
予算流用(増減)額		57 千円	予備費充用額		千円
【事業の目的】 市内小中学校の児童生徒の不登校対策として、早期の学級復帰への支援、併せて保護者に対して子どもとの理解や対応に関する指導等、教育相談業務の充実を図る。					
【事業の概要】 ◆教育相談事業 ○賞金 10,864 千円 ○報償費(委員手当他) 9,760 千円 ○旅費 61 千円 ○需用費(消耗品費、光熱水費他) 96 千円 ○役員費(電話料、火災保険料、傷害保険料) 522 千円 ○委託料(各種保守点検料他) 124 千円 ○使用料及び賃借料(インターネット使用料、車両借上料他) 80 千円 ○備品購入費 55 千円 ○スクールソーシャルワーカー活用事業 166 千円 ◆1,373 千円 ○賞金 1,342 千円 ○旅費 26 千円 ○需用費(消耗品費) 5 千円 【事業の成果と改善点等】 坂井市全域から通学指導教室に通室している児童生徒に対して、スクールソーシャルワーカーを含めた指導員6人で、緊密な連携を図りながら、学校への早期復帰及び不登校児童生徒の社会的自立ができるように、継続的に支援している。 【事業の目標値と実績等】					
通学指導教室		通室者数	復帰者数	復帰率	
H27	21人	18人	85.7%		
H26	14人	12人	85.7%		
不登校児童生徒数		小学生	中学生		
H27	9人	77人			
H26	14人	79人			
*不登校による欠席日数が30日以上的人数					

予算款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	01 教育委員会費
大事業	101 学級運営支援事業				決算書 P. 189
中事業	01 学級運営支援事業				所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初	決算額	不	用	額
前年度	75,430 千円	71,717 千円	3,713 千円		
主な 特定 財源	73,269 千円	70,215 千円	3,054 千円		
【事業の目的】 市内の小中学校において、学習面、生活面で特別な支援を必要とする児童に、学級サポートターを配置し、児童・生徒を個別に支援するとともに、円滑な学級運営を展開し、学習支援体制の充実を図る。					
【事業の概要】 ◆学級運営支援事業 ○賞金(学級サポートター) 70,259 千円 ○旅費(学級サポートター) 124 千円 ○委託料(研修委託料) 371 千円 ○使用料及び賃借料(車両借上料) 103 千円 ◆860 千円 ○賞金(自立支援指導員) 860 千円 【事業の成果と改善点等】 学習面や生活面で、特別に支援を必要とする児童生徒のために学級サポートターを配置して個別に支援することにより、円滑な学級運営を展開し、学習支援体制の充実を図ることができた。 また、支援員に対して発達障害のある児童生徒や不登校の児童生徒への声掛けなどの対応を学ぶための研修会を実施した。今後支援員のスキルアップのため、継続的に研修会を実施する。					
【事業の目標値と実績等】					
		実績(H27)	実績(H26)		
小中学校教育支援員数		55人	52人		
日本語指導生活支援員数		7人	8人		
中学校生徒相談員数(相談室)					



予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大事業	001 小学校教育振興事業		決 算 書 P. 193
中事業	01 小学校教育振興事業		所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初 補4号 補5号	決 算 額	不 用 額
前年度	74,374 千円	72,835 千円	1,539 千円
主な 特定 財源	県支出金 県支出金 県支出金	嶺南・嶺北交流事業補助金 道徳教育総合推進事業委託金 人権教育研究指定校事業委託金	805 千円 338 千円 160 千円
【事業の目的】 児童に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実を図る。			
【事業の概要】 ◆小学校教育振興事業 本庁 44,553 千円 市内19小学校の統括的な教育振興事業 ○賞金（外国語指導助手 9名） 6,583 千円 ○報償費（卒業記念品） 984 千円 ○需用費（教材用消耗品、教育用印刷費、修繕料） 22,071 千円 ○委託料（各作品展運営委託料） 155 千円 ○使用料及び賃借料（校外活動車両借上料） 6,096 千円 ○備品購入費（特別支援学級用教材・タブレット端末接続機器） 1,229 千円 ○負担金（特別支援学級研修修学負担金他） 294 千円 ○補助金（教職員大学院派遣事業補助金） 141 千円 ○損害賠償金（高校小学校体育活動での事故における示談金） 7,000 千円 ◆小学校教育振興事業 各小学校 26,957 千円 市内19小学校にて対応する教育振興事業 ○報償費 講師謝礼 134 千円 ○需用費 消耗品費（教材用） 10,543 千円 印刷製本費（卒業証書・保健調査票等の印刷） 761 千円 修繕料（教材備品の修繕） 521 千円 教材用備品 11,478 千円 図書購入費 3,520 千円 ◆道徳教育総合推進事業 339 千円 〔実施校〕 雄島小・長畝小・春江東小・兵庫小 ○報償費 講師謝礼 110 千円 ○需用費 消耗品費（教材用） 229 千円 〔次頁へ〕…			

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大事業	001 小学校教育振興事業		決 算 書 P. 193
中事業	01 小学校教育振興事業		所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
…〔前頁より〕			
◆人権教育研究指定校事業 180 千円 〔実施校〕 三国西小 ○需用費 消耗品費（教材用消耗品） 98 千円 ○備品購入費 印刷製本費（教材用印刷費） 79 千円 ○備品購入費 教材用備品購入費 3 千円 ◆嶺南・嶺北交流事業 806 千円 〔実施校〕 三国南小・三国北小・加戸小・平章小・春江西小 ○使用料及び賃借料（車両借上料） 806 千円			
【事業の成果と改善点等】 外国語指導助手（AET）を小学校4年～6年のクラスに配置（5年、6年は年間1クラス35時間、4年は年間1クラス3時間）し、児童がAETといっしょに英語を活用したコミュニケーション能力の向上を図った。 平成27年度は、県視察研究校として、大石小学校がタブレット端末や電子黒板などのICT機器を活用した「考える・分かる授業の研究」を行ない、情報機器による教育の実践方法や教材としての有効性を探った。さらに、今後のICT教育の実践方法について、坂井市内の小学校の先生方と研究内容を検討した。 また、小学校図書館の運営支援として、中学校へ配置している図書館司書と定期的に意見交換しながら、展示などの環境の改善を図り、小学校図書館の質の向上に努めた。			

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費	決 算 書
大事業	001 小学校教育振興事業			P. 195
中事業	21 学校生活ボランティア推進事業			教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
	144 千円	127 千円	17 千円	
前年度	144 千円	144 千円	0 千円	
主な 特定 財源	県支出金 学校生活ボランティア推進事業費補助金		127 千円	
【事業の目的】 学校活動において、保護者及び地域の人たちのボランティアによる活動を取り入れ、児童の学校生活を支援することで、きめ細かな教育体制の充実を図る。				
【事業の概要】 ○ 役員費 127 千円 傷害保険料 加入者数 422人				

【事業の成果と改善点等】  
市内19小学校において、学校生活ボランティアによる活動を取り入れて、読み聞かせを行ったり、子どもたちが学校行事や授業において、農業などの専門性を持った地域の方々から学ぶことにより、地域力を生かした教育体制の充実を図った。

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費	決 算 書
大事業	001 小学校教育振興事業			P. 193
中事業	06 小学校児童健康管理事業			教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初 補4号	決 算 額	不 用 額	
	18,019 千円	17,589 千円	430 千円	
前年度	17,932 千円	17,747 千円	185 千円	
主な 特定 財源	県支出金 子どもの目と歯の健康プロジェクト補助金 日本スポーツ振興センター負担金		58 千円 2,359 千円	
【事業の目的】 小学校における児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。				
【事業の概要】 学校保健安全法に基づき、児童の健康管理のため各種健康診断を行う。 ・内科及び歯科（全学年）、眼科（2年・5年）、耳鼻科（1年～3年） ・寄生虫（1年～3年）、さよう虫（1年～3年）、尿（全学年）、心電図（1年） ○ 報償費（校医手当） 10,120千円 ○ 需用費（事務用消耗品） 84千円 ○ 役員費（検査機器点検手数料） 21千円 ○ 委託料（健康診断委託料） 2,293千円 ○ 負担金（日本スポーツ振興センター負担金） 5,071千円 加入者数 5,387人 給付件数 386件				
【事業の成果と改善点等】 児童の健康管理については、学校医及び学校歯科医により健康診断を実施しているが、平成24年度から眼科、耳鼻科の健診は、坂井地区医師会及び校長会、養護教諭部会で協議を行い、学校医が内科健診の中で実施し、児童の健康保持を図った。 また、平成27年度には、県補助を受け、秋の歯科検診を実施して、保健指導、経過観察および治癒への継続的なケアを行い、虫歯の治癒率の向上を図った。				

予算款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業	決算書 P. 195
中事業	26	ふれあい交流事業	所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初	決算額	不用額
前年度	4,801 千円	4,441 千円	360 千円
主な 特定 財源	3,712 千円 指定寄附金	3,211 千円	501 千円 276 千円 千円 千円

【事業の目的】  
市の将来を担う子どもたちが、様々な交流を通して、各地域の個性と特色を尊重するとともに自らの地域を再認識し、郷土に対する愛着や誇りの気持ちを育てるよう、子どもたちの交流、地域との交流、小中学校間の交流を促進し、それぞれの交流の広がりから親睦を深める。

- 【事業の概要】
- 報償費 39 千円
  - 消耗品費 73 千円
  - 食糧費 111 千円
  - 事業運営委託料 (音楽会、連合運動会) 200 千円
  - 委託料 102 千円
  - 使用料及び賃借料 3,882 千円
  - 車両借上料 30 千円
  - 機械借上料 4 千円
  - 会場使用料

【事業の成果と改善点等】  
市内19小学校において、地域交流事業、小中連携事業、音楽交流会、連合運動会、自然教室、スキークラスを実施した。時代とともに変化する学習環境の中で、子どもたちに必要な課題解決のため、事業内容を見直していく。

予算款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業	決算書 P. 195
中事業	31	学力充実推進事業	所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初	決算額	不用額
前年度	2,139 千円	2,109 千円	30 千円
主な 特定 財源	2,219 千円	2,120 千円	99 千円 千円 千円

【事業の目的】  
児童一人ひとりの「確かな学力」の育成状況を正しく把握するとともに学習課題を分析し、児童の学習改善や教員の授業における工夫改善に活用するために全学年での学力調査を行い、児童の学力向上と教員の指導力向上を図る。

【事業の概要】  
毎年4月に小学校6年生を対象に行われる全国学力・学習状況調査にあわせて、全小学校2～5年生の国語・算数の学力調査を行う。  
調査結果を踏まえ、各小学校の課題を見つけ、その課題を解決することを目的とした各小学校の研究主任によるワークショップを開催し、学力向上のための取り組みを行う。

- 委託料 (学力調査委託料) 2,109 千円

【事業の成果と改善点等】  
全国で実施した大規模モニター調査によって標準化された「偏差値」に基づき、坂井市における児童の「確かな学力」を分析することにより、児童の学力向上と教員の指導力向上を図ることができた。

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大事業	051 児童就学援助事業		決 算 書 P. 195
中事業	01 児童就学援助事業		所管 部局 教育局
予算額	当初 補4号	決 算 額	不 用 額
前年度	23,657 千円	22,371 千円	1,286 千円
主な 特定 財源	国庫支出金 特別支援教育就学奨励費補助金 国庫支出金 要保護児童生徒援助費補助金		921 千円 1,237 千円 2 千円 千円

【事業の目的】  
学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】  
経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・医療費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。

○扶助費  
・特別支援教育就学援助費  
・要、準要保護児童就学援助費

扶助人数	H27	H26	増減
特別支援教育就学援助人数	75	77	△2
要、準要保護児童就学援助人数	301	281	20

【事業の成果と改善点等】  
就学援助を必要とする児童に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。今後、他自治体の援助状況を調査しながら、就学援助内容について検証する。

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大事業	101 小学校通学支援事業		決 算 書 P. 195
中事業	01 小学校通学支援事業		所管 部局 教育局
予算額	当初 補5号	決 算 額	不 用 額
前年度	80,479 千円	78,420 千円	2,059 千円
主な 特定 財源	諸収入 スクールバス利用者協力金	53,937 千円 52,772 千円	1,165 千円 7,118 千円 千円

【事業の目的】  
市内の小学校に通学する児童に統一した支援を行うため、学校からの一定距離以上の地区を対象にスクールバスを運行する等、遠距離通学の解消と、より安全・安心な通学の確保を図る。

【事業の概要】  
遠距離通学者の通学距離に際して、委託スクールバスの運行や路線バス利用料金の補助を行う。

区分	要 件
1年生～3年生	学校からの距離で、概ね1.5km以上の地区
4年生～6年生	学校からの距離で、概ね2.0km以上の地区

※利用期間は4月～3月（8月は除く）

○需用費（乗車証印刷費本費） 22千円  
○委託料 72,117千円  
・スクールバス運行 三国地区1台 丸岡地区7台  
春江地区4台 坂井地区3台  
○使用料及び賃借料（車両借上料 三国地区） 133千円  
○補助金 5,578千円  
・通学費補助金（三国地区） 570千円  
・スクールバス停建設補助金

【事業の成果と改善点等】  
学校からの一定距離以上の地区の児童を対象者に、スクールバスの委託運行や通学費の補助を行うことにより、安全で安心な通学手段を確保することができた。

【事業の目標値と実績等】

バス利用者数 実績	27年度	26年度
	1,343人	1,361人

予 算 款	10 教育費	項 03 中学校費	目 02 教育振興費	決 算 書
大事業	001	中学校教育振興事業		P. 197
中事業	01	中学校教育振興事業		教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初 補2号 補3号	決 算 額	不 用 額	
前年度	33,378 千円	32,056 千円	1,322 千円	
主な 特定 財源	国庫支出金 25,805 千円 県支出金 環境・エネルギー教育支援事業補助金	理科教育設備整備等補助金 環境・エネルギー教育支援事業補助金	1,270 千円 2,251 千円 3,186 千円	
予算流用(増減)額	△ 371 千円	予備費充用額	千円	
【事業の目的】 生徒に生きる力を育むことを目指し、創高工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実を図る。				
【事業の概要】				
◆	中学校教育振興事業	本庁	13,126 千円	
	市内5中学校の統括的な教育振興事業			
○	賞金	学校図書館司書 5名	10,831 千円	
○	報償費	卒業記念品(印鑑)	676 千円	
○	旅費	普通旅費	23 千円	
○	需用費	消耗品費・教材修繕料	35 千円	
○	使用料及び賃借料	音楽会及び特別支援学級合同研修会バス借上げ	696 千円	
○	備品購入費	教材用備品(無線LAN機器・聴覚補助機器)	611 千円	
○	負担金	県特別支援学級設置学校校長会負担金	14 千円	
		坂井地区特別支援学級合同学習会負担金	99 千円	
○	補助金(教職員大学院派遣事業補助金)		141 千円	
◆	中学校教育振興事業	各中学校	11,145 千円	
	市内5中学校にて対応する教育振興事業			
○	報償費	講師謝礼	88 千円	
○	需用費	消耗品費(教材用)	4,452 千円	
		印刷製本費(卒業証書・保健調査票等の印刷)	957 千円	
		修繕料(教材備品の修繕)	354 千円	
		職場体験傷害保険料(2年)	146 千円	
○	役務費	教材用備品	2,623 千円	
○	備品購入費	図書購入費	2,525 千円	

【次頁へ】

予 算 款	10 教育費	項 03 中学校費	目 02 教育振興費	決 算 書
大事業	001	中学校教育振興事業		P. 197
中事業	01	中学校教育振興事業		教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初 補2号 補3号	決 算 額	不 用 額	
前年度	33,378 千円	32,056 千円	1,322 千円	
主な 特定 財源	国庫支出金 25,805 千円 県支出金 環境・エネルギー教育支援事業補助金	理科教育設備整備等補助金 環境・エネルギー教育支援事業補助金	1,270 千円 2,251 千円 3,186 千円	
予算流用(増減)額	△ 371 千円	予備費充用額	千円	
【事業の目的】 生徒に生きる力を育むことを目指し、創高工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実を図る。				
【事業の概要】				
◆	中学校教育振興事業	本庁	13,126 千円	
	市内5中学校の統括的な教育振興事業			
○	賞金	学校図書館司書 5名	10,831 千円	
○	報償費	卒業記念品(印鑑)	676 千円	
○	旅費	普通旅費	23 千円	
○	需用費	消耗品費・教材修繕料	35 千円	
○	使用料及び賃借料	音楽会及び特別支援学級合同研修会バス借上げ	696 千円	
○	備品購入費	教材用備品(無線LAN機器・聴覚補助機器)	611 千円	
○	負担金	県特別支援学級設置学校校長会負担金	14 千円	
		坂井地区特別支援学級合同学習会負担金	99 千円	
○	補助金(教職員大学院派遣事業補助金)		141 千円	
◆	中学校教育振興事業	各中学校	11,145 千円	
	市内5中学校にて対応する教育振興事業			
○	報償費	講師謝礼	88 千円	
○	需用費	消耗品費(教材用)	4,452 千円	
		印刷製本費(卒業証書・保健調査票等の印刷)	957 千円	
		修繕料(教材備品の修繕)	354 千円	
		職場体験傷害保険料(2年)	146 千円	
○	役務費	教材用備品	2,623 千円	
○	備品購入費	図書購入費	2,525 千円	

【次頁へ】

【事業の成果と改善点等】  
 中事業に1名配置している学校図書館司書が中心となって、学校図書館での意欲的な学習活動や読書活動の充実を図ることができた。また、職場体験はじめとするキャリア教育を通して、それぞれの学校が体験したことなどを坂井地区キャリアアフォーラムで発表することで、自分の将来について考える機会を得ることができた。  
 平成27年度は、春江中学校が県視察研究校としてタブレット端末や電子黒板などのICT機器を活用した研究授業を行った。中学生については、グループ討議の中で、タブレット端末を利用し、生徒自らの創高工夫の中で学び考える力の育成を図った。さらに、情報機器による教育の実践方法や教材としての有効性など、坂井市内の中学校の先生方と研究内容を検討した。

予 算 款	10 教育費	項 03 中学校費	目 02 教育振興費
大事業 001	中学校教育振興事業		決 算 書 P. 199
中事業 06	中学校生徒健康管理事業		所管 部局 不 用 額
予算額 当初		決 算 額	
前年度	7,603 千円	7,364 千円	239 千円
主な 特定 財源	8,218 千円 日本スポーツ振興センター負担金	8,023 千円	195 千円 1,209 千円 千円 千円

【事業の目的】  
中学校における生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

【事業の概要】

学校保健安全法に基づき、生徒の健康管理のため各種健康診断を行う。

- ・ 内科、歯科健診の実施（全学年）
- ・ 尿（全学年）、心電図（1年）検査の実施。

- 報償費（内科医・歯科医・薬剤師手当） 3,353 千円
  - 役務費（検査機器点検手数料） 7 千円
  - 委託料（健康診断委託料） 1,328 千円
  - 負担金（日本スポーツ振興センター負担金） 2,676 千円
- 加入者数 2,831人 給付件数 531件

【事業の成果と改善点等】

生徒の健康管理については、学校医及び学校歯科医により健康診断を実施しているが、小学校と同様、眼科及び耳鼻科の健診は、学校医が内科健診の中で実施し、生徒の健康保持を図った。

予 算 款	10 教育費	項 03 中学校費	目 02 教育振興費
大事業 001	中学校事業振興事業		決 算 書 P. 199
中事業 16	クラブ活動推進事業		所管 部局 不 用 額
予算額 当初 補2号 補5号		決 算 額	
前年度	24,207 千円	24,205 千円	2 千円
主な 特定 財源	26,663 千円	25,985 千円	678 千円 千円 千円
予算流用(増減)額		562 千円	予備費(充)用額 千円

【事業の目的】  
学校教育の一環として、課外活動であるクラブ活動を実施し、技術力・競技力の向上を図るとともに、出場する全国大会などの部活動の実践の機会を支援することにより、生徒の自主性、意欲の向上、集団としての規律等の社会性を育てる。

【事業の概要】

- 報償費（激励費） 5,128 千円
- 部活動において大会（北信越中学校総合競技大会、全国中学校体育大会等）に出場する生徒及び指導者に対する経費の一部を支給。

- ・ 北信越中学校総合競技大会（福井県内）  
【出場種目】卓球（男女）・新体操・バスケ（男女）・剣道（男）・柔道（男女）  
相撲・ソフトテニス（男女）
- ・ 北陸吹奏楽コンクール（石川県）
- ・ 北陸アンサンブルコンテスト（福井市）
- ・ 全国中学校体育大会（北海道）  
【出場種目】新体操・柔道（男女）
- ・ 中部日本吹奏楽コンクール（静岡県）
- ・ 全日本吹奏楽コンクール大会（名古屋）
- ・ 全日本アンサンブルコンテスト（香川県）
- ・ 中部日本個人・重奏コンテスト（福井県）

- 委託料（中学校クラブ活動競技力向上委託料） 17,108 千円
- 部活動の競技力を向上を図るため、強化練習会等競技力向上を目的とする事業を各中学校に委託。
- 備品購入費（丸岡中・坂井中吹奏楽部楽器購入費） 1,969 千円

【事業の成果と改善点等】

中学校でスポーツ活動や文化活動を活発に行うことで、心と体の発達や技術力の向上と健康の保持増進を図ることができた。大会等は生徒の部活動における一つの目標となるものであり、生徒の自主性、意欲の向上、集団としての規律等の社会性を育てることができた。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費	決算書
大事業	051	生徒就学援助事業		P. 199 教育委員会事務局 学校教育課						
中事業	01	生徒就学援助事業								
予算額	当初	補4号	決算額	不 用 額						
前年度	25,018 千円		23,163 千円	1,855 千円						
主な 特定 財源	国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金	22,282 千円	1,458 千円						
	国庫支出金	被災児童生徒援助費補助金		536 千円						
	国庫支出金	要保護児童生徒援助費補助金		133 千円						
				28 千円						

【事業の目的】  
学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】  
経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・医療費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。

- 扶助費
- ・特別支援教育就学援助費 1,073 千円
  - ・要保護児童生徒就学援助費 22,090 千円

扶助人数	H27	H26	増減
特別支援教育就学援助人数	23	22	1
要、準要保護児童就学援助人数	218	207	11

【事業の成果と改善点等】  
就学援助を必要とする児童に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。今後、他自治体の援助状況を調査しながら、就学援助内容について検証する。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費	決算書
大事業	101	中学校通学支援事業		P. 199 教育委員会事務局 学校教育課						
中事業	01	中学校通学支援事業								
予算額	当初	補5号	決算額	不 用 額						
前年度	49,012 千円		48,187 千円	825 千円						
主な 特定 財源	高収入	スクールバス利用者協力金	29,161 千円	1,109 千円						
				6,277 千円						
				千円						
				千円						
				千円						
予算活用(増減)額			△ 191 千円	予備費充用額						

【事業の目的】  
市内の中学校に通学する生徒に統一した支援を行うため、学校からの一定距離以上の地区を対象にスクールバスを運行する等、遠距離通学の解消と、より安全、安心な通学の確保を図る。

【事業の概要】  
通学距離が一定の基準を超える通学者に対して、スクールの委託運行や路線バス利用金の補助を行う。

区分	要件	件
全学年	学校からの距離で、概ね4.0km以上の地区 冬期間(12月~2月)のみ3.0km以上の地区	

※利用期間は4月~3月(8月は除く)

- 委託料
- ・スクールバス運行 48,187 千円

三国地区	4台
丸瀬地区	2台
春江地区	3台
坂井地区	3台

【事業の成果と改善点等】  
通学距離が一定の基準を超える生徒を対象者に、スクールの委託運行や通学費の補助を行うことにより、遠距離通学の解消と安全、安心な通学を確保することができた。

【事業の目標値と実績等】

バス利用者数	27年度	26年度
実績	660人	673人

予 算 款	10 教育費	項 04 幼稚園費	目 01 幼稚園給食費	決 算 書 P. 203
大事業	251 幼稚園通学支援事業			教育委員会事務局 所管 部局
中事業	01 幼稚園通学支援事業			学校教育課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
前年度	39 千円	38 千円	1 千円	
主な 特定 財源	0 千円	0 千円	0 千円	
	スクールバス利用者協力金		38 千円	
予算流用(増減)額		12 千円	予備費充用額	千円

【事業の目的】  
市内の小学校併設幼稚園に通園する園児に支援を行うため、幼稚園からの一定距離以上の地区を対象にスクールバスを運行する等、遠距離通学の解消と、より安全、安心な通学を確保することを目的とする。

【事業の概要】  
幼稚園児の登下校は保護者の送迎が原則であるが5歳児は保護者の同意の下、集団登校が認められていることから、通学距離が概ね1.5km以上の地区の22名の園児に対して、スクールバスの委託運行や路線バス利用料金の補助を行う。なお、スクールバスは小学校を利用する。

- 補助金（通学費補助金 三国地区） 38 千円

【事業の成果と改善点等】  
学校からの一定距離以上の地区の5歳児を対象者に、スクールバスの委託運行や通学費の補助を行うことにより、安全で安心な通学手段を確保することができた。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 04 学校給食費	決 算 書 P. 223
大事業	051 学校給食管理事業			教育委員会事務局 所管 部局
中事業	01 学校給食管理事業			学校教育課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
前年度	67,825 千円	63,157 千円	4,668 千円	
主な 特定 財源	59,514 千円	58,134 千円	1,380 千円	
	電源立地地域対策交付金		4,700 千円	
予算流用(増減)額		△ 875 千円	予備費充用額	千円

【事業の目的】  
「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

- 費金 62,782 千円
  - ・刈岡地区自校調理場調理師 8名
  - ・三国学校給食センター調理師 10名
  - ・春江坂井学校給食センター調理師 22名
- 報償費 学校給食従事職員研修会 講師謝礼 20 千円
- 需用費 各給食調理場調理講習会 材料費 20 千円
- 工事請負費（旧春江坂井給食センター雨水排水工事） 335 千円

【事業の成果と改善点等】  
学校と春江坂井学校給食センターが児童生徒のアレルギー疾患に関する情報を把握・共有しながら、消防署や保護者と緊急時の連絡体制を構築し、安全で安心なおいしい給食の提供に努めた。また、給食調理員の研修（1回）を行い、衛生管理について調理員の資質の向上に努めた。今後、地産地消をいっそう推進するために市担当課や農業関連業者、地元生産者等と連携しながら、新鮮で安全な食材の質と量の供給体制について定期的に協議する。



予 算 款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	04 学校給食費
大事業	051 学校給食管理事業				決 算 書 P. 223
中事業	06 三国学校給食管理事業				所管 部局 教育委員会事務局 三国学校給食センター
予 算 額	148,303 千円	決 算 額	141,364 千円	不 用 額	6,939 千円
前年度	150,109 千円		147,683 千円		2,426 千円
主な 特定 財源	諸収入 諸収入 諸収入	小学校給食費負担金 中学校給食費負担金 幼稚園給食費負担金他			60,896 千円 35,818 千円 1,270 千円
【事業の目的】 「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。					
【事業の概要】 中学校1校（三国）、小学校6校（三国南・三国北・雄島・加戸・三国西・木部）、幼稚園1園（三国南）、総計8施設の給食を提供する。 その他、幼稚園4園（みくに未来・宿・安島・加戸）についても福祉予算（保育園費）にて提供している。					
○需用費					
	2,290 千円				120,030 千円
・消耗品費	6,932 千円				
・燃料費	11,199 千円				
・光熱水費	1,333 千円				
・修繕料	98,276 千円				
・賄材料費					
給食の状況		給食人員	給食延数		
		2,413人	370,899食		
○役務費					
・通信運搬費	147 千円				793 千円
・手数料	587 千円				
・火災保険料	18 千円				
・自動車保険料	41 千円				
○委託料					16,574 千円
・給食配送業務委託料	15,373 千円				
・警備保障委託料	223 千円				
・害虫駆除委託料	173 千円				
・電気工作物保守点検委託料	162 千円				

予 算 款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	04 学校給食費
大事業	051 学校給食管理事業				決 算 書 P. 223
中事業	06 三国学校給食管理事業				所管 部局 教育委員会事務局 三国学校給食センター
…【前頁より】					
	・ポイラー保守点検委託料				302 千円
	・地下タンク定期検査委託料				103 千円
	・受水槽管理委託料				103 千円
	・コピー機保守点検委託料				50 千円
	・消防設備保守点検委託料				27 千円
	・栄養管理システム保守委託料				58 千円
	○使用料及び賃借料				107 千円
	・CATV利用料				34 千円
	・電算機器借上料				58 千円
	・放送受信料				15 千円
	○工事請負費				3,536 千円
	・換気設備改修工事				729 千円
	・食器洗浄機修繕工事				2,807 千円
	○備品購入費				314 千円
	・施設用備品購入費				50 千円
	・給食用備品購入費				264 千円
	○負担金				3 千円
	・学校給食センター連絡協議会負担金				
	○公課費				7 千円
	・自動車重量税				
【事業の成果と改善点等】 地場産を中心とした安全・安心な食材の購入を基本に、美味しく栄養バランスのとれた学校給食の提供に努めた。気象条件に左右され、数量の確保が難しい地場産品は、安定した納品が見込めないのが現状であるが、今後も、市担当課や農産物業者、地元生産者等と連携しながら、新鮮で安全な食材の質と量の供給体制について検討し、使用率の向上に努める。					
【事業の目標値と実績等】					
		地場産食材の使用率	H27	H26	
		(実績)	52.2 %	49.0 %	

予算款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	04 学校給食費	決算書
大事業	051	学校給食管理事業				P. 223
中事業	11	春江坂井学校給食管理事業				教育委員会事務局 春江坂井学校給食センター
予算額	当初		決算額		不	用額
	278,408 千円		271,437 千円			6,971 千円
前年度	280,991 千円		274,919 千円			6,072 千円
主な	諸収入	小学校給食負担金				119,948 千円
特定	諸収入	中学校給食負担金				69,936 千円
財源	諸収入	幼稚園給食負担金ほか				6,895 千円
予算	流用(増減)額	875 千円	予備費充用額			千円
【事業の目的】						
「国児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣、食に関する指導の充実を図る。						
【事業の概要】						
中学校2校（春江・坂井）、小学校7校（春江・香江西・大石・香江東・東十郷大関・兵庫）幼稚園4園（春江・香江西・大石・香江東）						
計13校に給食を提供する。						
○需用費						
	消耗品費					237,052 千円
	燃料費					3,948 千円
	印刷製本費					14 千円
	光熱水費					88 千円
	修繕料					34,366 千円
	賄材料費					559 千円
						198,077 千円
給食の状況		給食人員	給食延数			
		3,923人	729,492食			
○役務費						
	通信運搬費					194 千円
	手数料					891 千円
	火災保険料					47 千円
	自動車保険料					44 千円

【次頁へ】...

予算款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	04 学校給食費	決算書
大事業	051	学校給食管理事業				P. 223
中事業	11	春江坂井学校給食管理事業				教育委員会事務局 春江坂井学校給食センター
...【前頁より】						
○委託料						
		工レバーター保守点検委託料				648 千円
		害虫駆除委託料				226 千円
		警備保障委託料				45 千円
		施設管理委託料				449 千円
		施設保守点検委託料				6,415 千円
		受水槽管理委託料				216 千円
		消防設備保守点検委託料				896 千円
		電気工作物保守点検委託料				588 千円
		電算機器保守点検委託料				88 千円
		配送業務委託料				20,196 千円
		一般廃棄物収集委託料				107 千円
		ポイラー保守点検委託料				679 千円
		シルバーマ材センター調理員業務委託料				2,496 千円
		○使用料及び賃借料				84 千円
		放送受信料				15 千円
		デマンド監視システム使用料				69 千円
		○備品購入費				63 千円
		施設用備品購入費				5 千円
		○負担金				8 千円
		学校給食センター連絡協議会負担金				
		○公課費				
		自動車重量税				
【事業の成果と改善点等】						
地産産物を中心とした安全・安心な食材の購入を基本に、美味しく栄養バランスのとれた学校給食の提供に努めた。気象条件に左右され、数量の確保が難しい地産産物は、安定した納品が見込めないのが現状であるが、今後も、市担当課や農産物運業者、地元生産者等と連携しながら、新鮮で安全な食材の質と量の供給体制について検討し、使用率の向上に努める。						
【事業の目標値と実績等】						
地産産物の使用率		H27	H26			
(実績)		41.2 %	35.4 %			

予 算 款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	04 学校給食費
大 事 業	051 学校給食管理事業				決 算 書 P. 225
中 事 業	16 丸岡学校給食管理事業			所 管 部 局	教育委員会事務局 学校教育課

…【前頁より】

3校（丸岡中・丸岡南中・鳴鹿小）  
 ○ 需用費 給食用消耗品費 99 千円  
 賄材料費（給食材料及び牛乳代） 11,067 千円  
 ○ 委託料 学校給食調理業務等委託料 109,723 千円  
 ・Cネットふくい委託分（鳴鹿小） 13,432 千円  
 ・Cネットふくい委託分（丸岡南中） 42,048 千円  
 ・（有）ランチサービス委託分（丸岡中） 54,243 千円

給食の状況	給食人員	給食証数
	3,290人	623,451食

【事業の成果と改善点等】  
 丸岡の学校給食については、自校式や調理業務委託により実施し、学校給食衛生管理基準に基づき適正な衛生管理に努めているが、一部の学校給食施設については、建築年数が経過し、老朽化が進んでいるため、給食提供のあり方について検討する必要がある。  
 また、給食の食料確保については、地場産を中心とした安全・安心な食料の購入を基本に、美味しく栄養バランスのとれた学校給食の提供に努めた。気象条件に左右され、数量の確保が難しい地場産品は、安定した納品が見込めないのが現状であるが、今後も、給食の食料確保については、市関係課や農業関連業者、地元生産者等と連携しながら、新鮮で安全な食料の質と量の供給体制について検討し、使用率の向上に努める。

【事業の目標値と実績等】		
地場産食料の使用率	H27	H26
（実績）	56.8%	52.3%

予 算 款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	04 学校給食費
大 事 業	051 学校給食管理事業				決 算 書 P. 225
中 事 業	16 丸岡学校給食管理事業			所 管 部 局	教育委員会事務局 学校教育課

予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額
	239,889 千円	229,945 千円	9,944 千円
前年度	241,092 千円	237,972 千円	3,120 千円
主な	諸収入	小学校給食負担金	102,609 千円
特定	諸収入	中学校給食負担金	59,743 千円
財源	諸収入	厨房設備使用料他	1,514 千円
予算	流用(増減)額	0 千円	予備費充用額

【事業の目的】  
 「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】  
 ◆丸岡学校給食管理事業 本庁 4,718 千円  
 ○ 旅費 調理師研修会参加時普通旅費 9 千円  
 ○ 需用費 消耗品 給食衛生用消耗品 71 千円  
 修繕料 給食用器具等修繕料 892 千円  
 賄材料費（給食材料及び牛乳代） 247 千円  
 食料検査（自校式小学校 5校 1品） 57 千円  
 調理師等腸内細菌検査（年24回） 297 千円  
 ノロウイルス抗原検査（年1回） 65 千円  
 ○ 委託料 調理場内害虫駆除委託料 721 千円  
 ○ 備品購入費（高椋小：食器洗浄機、平章小・長畝小：小皿） 2,359 千円

◆丸岡学校給食管理事業 丸岡 225,227 千円  
 5校2園（平章小・長畝小・高椋小・磯部小・明章小・高椋幼・磯部幼）  
 ○ 需用費 給食用消耗品費 1,552 千円  
 光熱水費（ガス） 7,593 千円  
 賄材料費（給食材料及び牛乳代） 95,193 千円

【次頁へ】…

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 01 社会教育総務費
大事業	051 社会教育事業		決算書 P. 203
中事業	01 社会教育事務事業		所管 教育局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決算額	不 用 額
前年度	8,883 千円	8,542 千円	341 千円
主な 特定 財源	1,239 千円 人権問題社会教育指導員設置費補助金	1,111 千円	128 千円 216 千円 千円
予算流用(増減)額		△ 20 千円	予備費充用額 千円

【事業の目的】  
社会教育法に基づき、社会教育委員は、社会教育行政全般について、調査及び審議を通  
して密申・建議を行うとともに、社会教育指導員を各地区に置くことで、地域の課題や市  
民の要望を反映した社会教育の振興を図る。また、生涯学習講演会を開催し、地域の活性  
化を図る。

【事業の概要】  
社会教育法に基づき社会教育委員の設置・運営  
○報酬 510千円  
○賞金 6,927千円  
○旅費 222千円

○需用費 7千円  
○役務費 14千円  
○委託料 794千円  
○使用料及び賃借料 3千円  
○負担金 65千円

県社会教育委員連絡協議会負担金 39千円  
社会教育主事講習参加負担金 2千円  
県社会教育研究会参加負担金 9千円  
県社会教育連絡協議会費 15千円

【事業の成果と改善点等】  
社会教育委員の会議を3回開催した。また、坂井市合信通学事業の実行委員としての事  
業視察や各種研修会等への参加、子ども会聖新聞コンフォールの審査、青少年健全育成推進  
大会、心の教育講演会等へ参加などの活動を行った。さらに、コミュニティセンター移行  
後も、引き続き各地区に社会教育指導員を配置し、地域の課題や市民の要望を反映した社  
会教育の振興を図った。  
また、生涯学習講演会には398人の参加があり、「字幕の中の人生」と題して、字幕  
翻訳者の戸田奈津子さんによる講演会を開催した。

【事業の概要】  
社会教育法に基づき社会教育委員の設置・運営  
○報酬 510千円  
○賞金 6,927千円  
○旅費 222千円

○需用費 7千円  
○役務費 14千円  
○委託料 794千円  
○使用料及び賃借料 3千円  
○負担金 65千円

県社会教育委員連絡協議会負担金 39千円  
社会教育主事講習参加負担金 2千円  
県社会教育研究会参加負担金 9千円  
県社会教育連絡協議会費 15千円

【事業の成果と改善点等】  
社会教育委員の会議を3回開催した。また、坂井市合信通学事業の実行委員としての事  
業視察や各種研修会等への参加、子ども会聖新聞コンフォールの審査、青少年健全育成推  
進大会、心の教育講演会等へ参加などの活動を行った。さらに、コミュニティセンター移行  
後も、引き続き各地区に社会教育指導員を配置し、地域の課題や市民の要望を反映した社  
会教育の振興を図った。  
また、生涯学習講演会には398人の参加があり、「字幕の中の人生」と題して、字幕  
翻訳者の戸田奈津子さんによる講演会を開催した。

予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	決算書
大事業	151	市民運動推進事業				01	P. 203
中事業	01	市民運動推進事業					教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初		決算額				不用額
前年度		399千円		399千円			0千円
主な 特定 財源		363千円		363千円			0千円
<p>【事業の目的】 市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。</p>							
<p>【事業の概要】 ○負担金 399千円 坂井市民運動推進協議会負担金 204千円 あすの福井県を創る協会負担金 195千円</p>							
<p>第10回坂井市花壇コンクール 審査日 8月28日(月) 三国地区 8月28日(月) 丸岡地区 8月29日(火) 春江地区 8月30日(水) 坂井地区 場所 市内の花壇 参加数 47団体</p>							
<p>坂井市ふるさとづくり大会 期日 12月5日(土) 場所 たかむく古城ホール 内容 坂井市民運動実践者表彰 実践発表 記念講演</p>							
<p>【事業の成果と改善点等】 坂井市民運動推進協議会が市民運動への意識向上と推進を図り、より一層豊かで明るく、住みたくなるまちづくりを旨として「坂井市ふるさとづくり大会」を開催した。花壇コンクールについては、平成30年開催の福井国体における花でのおもてなしに向けて、参加地区団体へのさらなる活動推進を図る。</p>							
予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	決算書
大事業	001	公民館管理運営事業					P. 203
中事業	01	公民館管理運営事業					教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初		決算額				不用額
前年度		1,427千円		1,415千円			12千円
主な 特定 財源		1,461千円		1,458千円			3千円
<p>地区集会場土地借上料負担金 17千円 千円 千円</p>							
<p>予算添用(増減)額 20千円 予備費充用額 千円</p>							
<p>【事業の目的】 県公民館連絡協議会に加盟し、コミュニティセンター職員及び社会教育関係者の研修機会の充実及び資質、能力の向上を図る。</p>							
<p>【事業の概要】 ○報償費 30千円 コミュニティセンター職員研修会講師謝礼 ○旅費 39千円 東海北陸公民大会旅費 ○需用費 7千円 書籍購入費(月刊公民館) ○役務費 95千円 丸岡女性の家引込線撤去手数料 19千円 即内公民館火災保険料 76千円 土地借上料 ○使用料及び賃借料 539千円 県公民館セミナー参加費 121千円 県公民館大会・東海北陸公民館大会参加費 26千円 県公民館連合会市町村負担金 558千円</p>							
<p>【事業の成果と改善点等】 コミュニティセンター移行後も、引き続き県公民館連合会に加盟することにより、職員 の社会教育に関する研修機会の充実を図ることができた。</p>							

予 算 款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 国際交流推進費	決 算 書
大事業	001	国際交流推進事業				P. 205
中事業	06	国際交流派遣事業				所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初		決 算 額		不 用 額	
前年度		9,805 千円		9,758 千円		47 千円
主な 特定 財源		9,311 千円 海外派遣参加者負担金		9,023 千円		288 千円
予算流用(増減)額				803 千円		予備費充用額

【事業の目的】  
国際理解教育の一環として、坂井市内の中学校の生徒を英国に派遣し、ホームステイ、授業参加、日本文化紹介(英語)を通して外国の生活を体験することにより、国際化時代に対応できる青少年を育成する。また、成果を壁新聞等で各中学校に掲示し、体験の共有化を図る。

【事業の概要】  
〈派遣期間〉 平成28年3月10日(木)～19日(土) 10日間  
〈派遣先〉 英国ウエールズカーディフ市 /ウインザー-およびロンドン  
〈派遣人数〉 生徒 25人(男子7人、女子18人) 引率者 5人  
(市内在住で市内中学校の2年生に在学する生徒)

- 報償費 202千円
  - 選考委員謝礼(3名) 50千円
  - 交流先記念品 108千円
  - 事前研修講師謝礼(11名) 44千円
  - 引率者旅費(5名) 189千円
- 旅費 194千円
- 需用費
  - 消耗品費 120千円
  - 食糧費 57千円
  - 印刷製本費 17千円
  - 国際交流事業手配業務委託料 9,120千円
  - 使用料及び賃借料 事前研修時寝具借上料 53千円

【事業の成果と改善点等】  
交流先の都合により日程の変更が生じ、渡航費が増えたことにより、委託料が増額となったが、予定どおり約半年をかけた事前研修により、派遣団員が英語コミュニケーション能力を磨くことができた。その後、現地でホームステイや授業参加等を通して団員同士や英国生徒との交流を深め、生の英語や異文化に触れる貴重な体験を積み、国際的な感覚を身に付けることができた。

予 算 款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 国際交流推進費	決 算 書
大事業	001	国際交流推進事業				P. 205
中事業	11	国際交流招聘事業				所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初		決 算 額		不 用 額	
前年度		1,535 千円		1,523 千円		12 千円
主な 特定 財源		1,613 千円		1,478 千円		135 千円
予算流用(増減)額				△ 83 千円		予備費充用額

【事業の目的】  
国際社会を生きる児童・生徒の資質向上を目指し、英国の交流先であるカーディフ市の生徒を招聘し、ホストファミリー等の体験を通じ、市民の国際理解を進める。また、英国生徒が市内中学校の授業や交流会に参加することにより、市内中学生の国際的な視野を広げる。

【事業の概要】  
〈招聘期間〉 平成27年6月30日(火)～7月8日(水) 9日間  
〈招聘人数〉 生徒 25人(男子6人、女子19人) 引率者 6人  
(ブラスマウルコンプリハンションスクール、  
カントニアンハイスクール)

- 報償費 5千円
- 需用費 268千円
  - 体験活動協力者等謝礼
  - 消耗品費 78千円
  - 食糧費 190千円
- 委託料 1,250千円
  - 事業運営委託料

【事業の成果と改善点等】  
平成26年度より毎年招へい事業を実施することとなり、ホストファミリーを中心に異文化交流を進めることができた。また、受け入れ校(三國、香江中学校)でも、授業参加や交流会の開催を通じて、国際交流体験を幅広く行うことで、市内中学生や市民に対して国際理解教育を進めることができた。

予 算 款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 青少年健全育成費
大 事 業	001 青少年健全育成事業				決 算 書 P. 205
中 事 業	01 子ども会育成事業				所管 部 局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額		
	2,141 千円	2,138 千円	3 千円		
前年度	2,140 千円	2,138 千円	2 千円		
主 な 特 定 財 源					千円 千円 千円

【事業の目的】  
 幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材の育成を行う。

【事業の概要】

- 負担金
  - 福井県子ども会育成連合会負担金 154千円
  - 坂井地区子ども会育成連絡協議会負担金 64千円
  - 坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金 90千円
  - 坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金 1,984千円
- 補助金

【事業の成果と改善点等】

青少年のリーダーとなる人材の育成を行うことを目的に、坂井市子ども会育成連絡協議会を事業主体として、子ども会活動の支援や組織の育成を図った。今後も継続して研修を行い、子ども会活動の活性化を推進していく。また、今年度より子ども会行事のドッジボール大会をより幅広い参加を促すため、子ども会活動として取り組みやすく安全に活動できるドッジボールに変更して実施し、参加者や保護者及び関係者からもおおむね好評であった。

予 算 款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 青少年健全育成費
大 事 業	001 青少年健全育成事業				決 算 書 P. 205
中 事 業	06 成人式事業				所管 部 局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額		
	1,419 千円	1,298 千円	121 千円		
前年度	1,353 千円	1,259 千円	94 千円		
主 な 特 定 財 源					千円 千円 千円

【事業の目的】  
 新成人の門出を祝福するとともに、一人ひとりが成人したことを自覚し、これから社会の中で自主的・協力的に行動するよう激励する。

【事業の概要】

- 〈期 日〉 平成28年1月10日(日) 午後1時30分～
- 〈会 場〉 ハートピア春江
- 〈対象者〉 新成人1,070人
- 〈参加者〉 新成人874名(男性446人、女性428人 出席率81.6%)

○ 報償費

- 成人式実行委員等謝礼(16名) 80千円
- 成人式協力者謝礼 30千円
- 記念品等(アル/△) 701千円
- 成人式大賞 表彰式旅費(東京) 51千円
- 169千円

○ 旅費

- 需用費
  - 消耗品費 86千円
  - 食糧費 37千円
  - 印刷製本費 46千円

○ 役務費

- 通信運搬費 153千円
- 手数料 2千円

○ 使用料及び賃借料

- 会場使用料 112千円

【事業の成果と改善点等】

参加した新成人一人ひとりが成人したことを自覚するとともに、今回のテーマである「Prologue～現在から未来へ～」に込められた、人生の節目であるこの日から、気持ちを新たに日々邁進していこうという新たな決意をするきっかけとなった。

【事業の実績等】

成人式出席率	平成27年度 81.6%	平成26年度 80.1%
--------	--------------	--------------

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 青少年健全育成費
大事業	001 青少年健全育成事業				決算書 P. 205
中事業	11 わんぱく少年団事業				所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初		決算額		不 用 額
前年度	385千円		322千円		63千円
主な 特定 財源	388千円		327千円		61千円
	諸収入		わんぱく少年団参加者負担金		81千円

【事業の目的】  
自然の中で行う様々な体験を通じて、仲間との協力の大切さを学ぶとともに自立心の向上を図り、人との関わりや今後の人生をより豊かに過ごせるような積極性を身につけることを目的とする。

【事業の概要】  
 〈名称〉 「2015 SAKAIわんぱく少年団」  
 〈対象者〉 坂井市内小学校5・6年生28人  
 〈実施期間〉 学校週休日・夏休み（6月～2月）  
 〈実施回数〉 10回  
 〈実施内容〉 結団式、スノーケリング体験、キャンプ、ヨット体験、ウォークラリー、トレッキング、ディスクゴルフ、リース作り、クロスカントリースキー、修了式  
 協力者謝礼（山の会）  
 ○報償費 30千円  
 ○需用費 217千円  
     消耗品費 82千円  
     食糧費 135千円  
 ○役務費 22千円  
 ○使用料及び賃借料 施設使用料等 53千円

【事業の成果と改善点等】  
自然の中で行う体験を通して子どもたち自らの可能性を上げ、仲間とコミュニケーションを取りながら協力する大切さを学ぶことができた。この事業を通じて自然体験活動の重要性を再認識することができた。また、この活動をきっかけに他の活動においても積極的に取り組みが図られるようになった。今後も、子どもたちが参加したくなるような魅力的な活動を実施していく。  
さらに、この事業にジュニアリーダーが関わることで、ジュニアリーダーのメンバー確保にも繋がった。

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 青少年健全育成費
大事業	001 青少年健全育成事業				決算書 P. 207
中事業	16 青少年育成坂井市民会議事業				所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初		決算額		不 用 額
前年度	2,126千円		2,126千円		0千円
主な 特定 財源	2,126千円		2,126千円		0千円

【事業の目的】  
青少年問題のもつ重要性に鑑み、広く市民の協力を結集して「青少年育成坂井市民会議」を組織し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。

【事業の概要】  
青少年育成坂井市民会議の主な活動

期日	事業名	場所
5月29日(金)	青少年育成坂井市民会議総会	たかむく古城ホール
7月4日(土)	非行防止一斉キャンペーン	丸岡ピアゴ
9月28日(月)	心の教育講演会	たかむく古城ホール
11月18日(水)	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～20日(金)	丸岡中学校
11月28日(土)	坂井市青少年健全育成推進大会	たかむく古城ホール
12月17日(木)	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～18日(金)	丸岡南中学校
3月25日(金)	白いポスト贈呈式(賛助金活用事業)	三国希望園前

○補助金 青少年育成坂井市民会議運営補助金 2,126千円

【事業の成果と改善点等】  
青少年が健全に成長していくための環境づくりや、青少年の健全な心を育てることに貢献することができた。また、新たに青少年育成活動への参加促進を支援する事業として、市の教育「赤ちゃん抱っこ体験学習」を丸岡中と丸岡南中で実施した。



予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費	決算書
大事業	001	青少年健全育成事業						P. 207		
中事業	21	放課後子ども教室推進事業			所管	教育局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課		
予算額	当初	決算額		不		用		額		
		4,000 千円	3,937 千円			63 千円				
前年度		4,000 千円	3,915 千円			85 千円				
主な	収支	放課後子どもプラン事業補助金				2,415 千円				
特定	財源					千円				
						千円				

【事業の目的】  
コミュニティセンター等で、様々な放課後子ども教室を実施し、子どもたちに安全な居場所や学習・体験活動の機会を提供する。

【事業の概要】

主にコミュニティセンターで、学習アドバイザーや安全管理員など、学校・家庭・地域の連携協力推進事業の一部として、地域の方々の協力を得て実施。各地域の実情に合わせてながら、書道や絵画、読書感想文教室など長期休暇の宿題を中心とした教室を開催したり、生け花教室、三味線教室、コーラス教室など定期的に教室を開催したりするなど、子ども達の安全な居場所の確保に努めた。

○委託料

放課後子ども教室実施委託料  
(25教室)

3,937千円

【事業の成果と改善点等】

地域のボランティアの協力を得て、多様な体験・活動を行うことができ、安全・安心な子どもたちの活動拠点を設けることができた。また、27年度は12教室において、放課後児童クラブと連携し開催することができた。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費	決算書
大事業	001	青少年健全育成事業						P. 207		
中事業	26	合宿通学事業			所管	教育局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課		
予算額	当初	決算額		不		用		額		
		1,356 千円	1,312 千円			44 千円				
前年度		1,524 千円	1,342 千円			182 千円				
主な	特定					千円				
財源						千円				
						千円				

【事業の目的】  
コミュニティセンター等の公共施設に3泊4日（または2泊3日）で宿泊し、自分の家の回りのことはすべて自分で行いながら学校に通学することにより、日常生活における家族の苦労や、愛情の深さに気付き、感謝する気持ちを育てる。

【事業の概要】

期 間	場 所	対象者	参加人数
6月18日(木)～20日(土)	高萩東部コミセン	明章小学校4年生	24名
10月1日(木)～3日(土)	東十郷コミセン	東十郷小学校4年生	15名
10月22日(木)～24日(土)	香江中コミセン	香江東小学校4年生	42名
10月28日(水)～31日(土)	三国コミセン	加戸小学校6年生	29名
合 計			110名

○委託料

合宿通学事業業務委託料

1,312千円

【事業の成果と改善点等】  
長期間宿泊での日常生活体験は、学校教育では得られない大変貴重な体験であり、事業目的に沿った効果が得られた。また、多くの地域ボランティアが関わること、地域で子どもを育てるといった気運を高め、子どもたちと地域の結びつきが強くなった。

予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 青少年健全育成費	決算書
大事業	001	青少年健全育成事業					P. 207
中事業	31	坂井・延岡ジュニア交流事業					教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初		決算額	不用額			
前年度		1,357 千円		1,208 千円		149 千円	
主な特定財源	繰入	718 千円		699 千円		19 千円	
		坂井・延岡ジュニア交流事業参加者負担金				500 千円	

【事業の目的】  
宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校児童を対象に両市の名勝旧跡を学習することを通じて人的交流を図っていく中で、将来的に両市の縁を強めていくことを目的とする。

【事業の概要】  
1年ごとに坂井市と延岡市を相互に訪問し交流を行っている。今年度は「坂井・延岡ジュニア交流隊」を結成して延岡市を訪問し、延岡市の小学生と交流した。

（期 間） 平成27年8月5日（水）～7日（金） 3日間  
（参加者） 坂井市内小学5・6年生 20名、市P連2名、事務局2名  
延岡市内小学5・6年生 20名、市P連2名、事務局3名

- 報償費（記念品） 21千円
- 需用費 30千円
- 役員費 2千円
- 委託料 1,155千円
- 消耗品費
- 通信運搬費
- 事業運営委託料

【事業の成果と改善点等】  
両市とも隊員同士が仲良くなり、別れの際には手紙のやり取りを約束するなど、子どもたちの中では確かに交流が湧いている様子を感じ取ることができた。継続していく中で、交流のスタイルも今後検討していく必要がある。

予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 青少年健全育成費	決算書
大事業	051	心の家庭教育支援事業					P. 207
中事業	01	心の家庭教育支援事業					教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初		決算額	不用額			
前年度		1,429 千円		1,108 千円		321 千円	
主な特定財源		1,319 千円		1,079 千円		240 千円	

【事業の目的】  
家庭の教育力の向上を図るため、現在子育て中の親が子育てに関する情報や学習機会を得られるよう支援体制を作り、地域全体で家庭教育を支えていく基盤の形成を促進する。

【事業の概要】  
・子育て講座  
小学校を中心に多くの親が集まる機会（就学時検診時等）を活用して、家庭教育について学習機会を提供した。（4校）  
・家庭教育支援チーム  
元教員、元保育士・子育て経験者などで坂井市家庭教育支援チームを結成し、小学生などの子どもを持つ親（家庭）の心の教養と支援を行った。  
・広報紙の発行  
子育てに関する情報やアドバイスなどを掲載した広報紙「ほやほや」を年4回で発行した。

- 報償費 1,053千円  
子育て講座講師謝礼 40千円  
家庭教育支援チーム員手当 1,013千円
- 需用費 55千円  
消耗品費 45千円  
食糧費 10千円

【事業の成果と改善点等】  
地区ごとに小学校への訪問スタイルも確立され、子どもたちとの信頼関係を育んでいる。今後、子どもたちを見守り、ふれあうことにより、成長の支えとなれるよう活動を進めていきたい。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 06 青少年愛護センター費	決 算 書
大事業	001 愛護センター事業			P. 207
中事業	01 愛護センター事業			教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
前年度	10,948 千円	10,499 千円	449 千円	
主な特定財源	13,458 千円	10,217 千円	3,241 千円	
	県支出金	青少年愛護センター運営費補助金	389 千円	

【事業の目的】  
青少年の健全な育成を図るとともに、これを阻害するおそれのある行為を防止することによって、青少年の健全育成を図る。

【事業の概要】

- 賞金 愛護センター職員賞金 8,016千円
- 報償費 一般補導員手当 1,200千円
- 需用費 770千円
- 役務費 231千円
- 委託料 303千円
- 使用料及び賃借料 49千円
- 負担金 60千円
- 公課費 127千円
- 賞金 17千円
- 報償費 28千円
- 需用費 57千円
- 委託料 315千円
- 使用料及び賃借料 24千円
- 負担金 64千円
- 公課費 8千円

【事業の成果と改善点等】

今年度も一般補導員との協働により各自治区懇談会や合同巡回街頭補導を実施した。今後さらさら各関係機関と連携した補導体制の充実を図っていく。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 01 保健体育総務費	決 算 書
大事業	051 スポーツ推進委員運営事業			P. 219
中事業	01 スポーツ推進委員運営事業			教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
前年度	2,402 千円	2,378 千円	24 千円	
主な特定財源	2,599 千円	2,539 千円	60 千円	

【事業の目的】  
スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力などを行ない、市のスポーツ振興を図る。

【事業の概要】

- 地域のスポーツの推進役として地域住民のスポーツニーズを把握し必要な取り組みを行なった。また、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行なうことが出来るようサポートした。
- 派遣指導（マリントレーニングの開催、出前ニュースポーツ講座）31回/年
- ウォークラリー 32組/111人
- ニュースポーツ教室 年22回/延べ286人
- ニュースポーツ大会 60人
- 坂井市古城マラソン大会、坂井市民スポーツ祭他
- 全大会3回、部会等14回、研修会3回
- 報酬 体育指導委員報酬（@32千円×46人） 1,472千円
- 報償費 講師謝礼・視察謝礼 13千円
- 旅費 費用弁償・特別旅費 197千円
- 需用費 全国スポーツ推進委員研究協議会（愛媛県） 52千円
- 役務費 北陸地区スポーツ推進委員研修会（越前市、鯖江市） 85千円
- 使用料及び賃借料 定期刊行物購読料・啓発用消耗品費 123千円
- 負担金 車阿借上料・有料道路通行料 436千円

【事業の成果と改善点等】

ニュースポーツ教室・大会の企画運営をはじめ、市古城マラソン・市民スポーツ祭への協力、マリントレーニングなど、市民のスポーツによる健康づくりに貢献できた。特に、平成30年に開催される福井国体のデモスポ競技であるドッチビーの普及・指導に力を入れた。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 01 保健体育総務費
大事業	101 保健体育事業		決 算 書 P. 219
中事業	01 保健体育事務事業		所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額
前年度	216 千円	97 千円	119 千円
主な 特定 財源	127 千円	8 千円	119 千円
予算流用(増減)額	89 千円	予備費充用額	千円

【事業の目的】  
スポーツ振興の充実を図るための事業を行う。スポーツ推進審議会では、スポーツ推進に関する重要事項について調査及び審議を通して建議を行う。  
また、各種協議会に対し負担金助成を行う。

【事業の概要】

- 旅費 特別旅費 89千円  
(日本スポーツ振興くじ助成申請・日本陸連事前確認)
- 負担金 県公立武道館協議会負担金 4千円  
体育施設協会負担金 4千円

【事業の成果と改善点等】

スポーツ振興計画に基づき、保健体育事務事業を実施した。  
スポーツ振興審議会において、スポーツ振興計画の見直しを行う予定であったが、教育振興基本計画が2年延長されたことにより開催を見送った。次の教育振興基本計画の改訂までにスポーツ振興計画を見直し、教育振興基本計画に反映されるよう準備を進める必要がある。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 01 保健体育総務費
大事業	151 国体推進事業		決 算 書 P. 219
中事業	01 国体推進事業		所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初 補3号 補5号	決 算 額	不 用 額
前年度	266,919 千円	261,096 千円	5,823 千円
主な 特定 財源	89,300 千円	86,745 千円	2,555 千円
予算流用(増減)額	合併特別事業債	△ 1,397 千円	予備費充用額

【事業の目的】

平成30年に福井県で開催される福井しあわせ元気国体において、坂井市では、サッカー競技とバレーボール競技が開催されるが、本市を訪れる選手・役員をはじめ応援観戦される人々が十分満足する魅力あふれる大会となるよう、開催準備を円滑に進める。

【事業の概要】

- 需用費 施設用消耗品 195千円
- 役務費 申請手数料・検査手数料 62千円
- 委託料 監理委託料 23,035千円
- 丸岡林・ワグノ・カッカ-場施設改修工事監理業務 2,160千円
- 丸岡体育館耐震改修工事監理業務 3,676千円
- 設計委託料
- 丸岡体育館耐震補強計画・実施設計業務 5,616千円
- 三国体育館耐震補強計画・実施設計業務 8,370千円
- 三国運動公園多目的競技場人工芝改修工事実施設計業務 2,727千円
- 三国運動公園陸上競技場管理棟等設計業務 486千円
- 工事請負費 237,437千円
- 丸岡林・ワグノ・カッカ-場施設改修工事 95,418千円
- 丸岡体育館耐震工事(建築) 87,858千円
- 丸岡体育館耐震工事(電気) 35,057千円
- 丸岡スポーツランド合宿所空調設備入替工事 2,808千円
- 丸岡スポーツランド排水設備整備工事 7,322千円
- 丸岡B&G・フィットネスセンター排水設備整備工事 8,866千円
- 丸岡スポーツランドサッカー場管理棟飾棚ガラス引設置 42千円
- 丸岡スポーツランド路面復旧費 66千円

【次頁へ】...

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育給務費
大事業	151	国体推進事業			決算書 P. 219				
中事業	01	国体推進事業			所管	教育委員会事務局	部局	生涯学習スポーツ課	

…【前頁より】

○備品購入費  
施設用備品購入費（天然芝用ラインカー）

367千円

【事業の成果と改善点等】  
福井しあわせ元気国体のサッカー競技会場のとなる丸岡スポーツランドサッカー場施設改修工事及び三国運動公園多目的競技場人工芝改修の実施設計、また、バレーボール競技会場となる丸岡体育館耐震改修工事及び三国体育館耐震改修の実施設計を実施した。今後は、国体開催に向けて、計画的に施設整備を進めていく必要がある。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大事業	001	スポーツ振興事業			決算書 P. 221				
中事業	01	スポーツ大会運営事業			所管	教育委員会事務局	部局	生涯学習スポーツ課	

予算額	当初	決算額	不用額
-----	----	-----	-----

5,976千円 5,900千円 76千円

前年度 5,857千円 1千円

主な 雑収入 (大会参加料) 28千円

特定 雑収入 スポーツ振興くじ助成金 (マラソン) 2,136千円

財源

【事業の目的】

誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめるよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図る。

【事業の概要】

坂井市古城マラソン大会 6月7日 (日) ゲストランナー 新谷仁美

参加者数 3,411人 (H25 3,631人)

坂井市民スポーツ祭 10月12日 (月・祝)

参加者数 3,465人

○需用費

消耗品費 (大会・行事用消耗品費) 108千円

食糧費 (行事等陪) 64千円

傷害保険料 44千円

○役務費 27千円

○委託料 5,000千円

坂井市民スポーツ大会 2,300千円

坂井市古城マラソン大会 2,700千円

○補助金 765千円

坂井市古城カップサッカー大会補助金 665千円

坂井・奥越地区高等学校野球大会運営事業補助金 100千円

【事業の成果と改善点等】

各種大会を開催し、スポーツの振興を図ることができた。マラソン大会については、毎年多くの県内外の方の参加があり地域活性化に貢献している。今年度の市民スポーツ祭については、春江体育館を主会場にした開催で、スポーツイベントとして市民にインパクトを与え印象づけることにより、スポーツをはじめめる動機づけになっている。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 02 体育振興費	決 算 書 P. 221
大 事 業	001 スポーツ振興事業	所管 部 局		
中 事 業	06 スポーツ振興事業	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予 算 額	当初 補1号	決 算 額	不 用 額	
前年度	38,305 千円	38,304 千円	1 千円	
主 体			1 千円	
特 定			千円	
財 源			千円	
予 算 流 用 (増減) 額		1,017 千円	予 備 費 充 用 額	千円

【事業の目的】  
坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体に対し補助金を交付し、競技スポーツ・生涯スポーツの推進、また、スポーツによる青少年の健全育成を目的とする活動を支援する。また、予選を勝ち抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。

【事業の概要】  
○ 報償費 全国スポーツ大会出場激励金 4,117千円  
・ 団体  
・ 全国高等学校総合体育大会  
・ 国際大会  
・ その他全国大会  
計 402名 (77大会)  
○ 需用費 事務用品消耗品費 (金封筒) 7千円  
○ 委託料 宝くじスポーツフェアドリームサッカー委託料 1,200千円  
○ 負担金 宝くじスポーツフェアドリームサッカー委託料 1,200千円  
クロカンマラソン大会負担金 1,200千円  
○ 補助金 31,780千円  
坂井市体育協会補助金 26,780千円  
坂井市スポーツ少年団補助金 4,000千円  
地域密着型トップスポーツ-A支援事業補助金 1,000千円

【事業の成果と改善点等】  
各スポーツ振興団体の活動計画に沿った事業を実施した。特に、平成30年に開催される国体のサッカー競技の機運の醸成や、整備した施設のアピール、競技力の向上を図る目的で、宝くじスポーツフェアドリームサッカーを開催した。また、坂井市体育協会は、指定管理者として施設の管理運営を行なうとともに、市民へのスポーツ普及を進め、自主事業として各種スポーツ教室等を開催し自助努力を行なった。今後も効率的で効果のある団体運営を推進し、自主運営力を高める必要がある。国際大会、全国大会に出場する選手・監督に対し、激励金を交付し、大会での活躍を激励することにより、競技スポーツの振興を図ることができた。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 03 体育施設費	決 算 書 P. 221
大 事 業	001 体育施設管理事業	所管 部 局		
中 事 業	01 体育施設管理事業	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		
予 算 額	当初 補3号 補5号	決 算 額	不 用 額	
前年度	81,817 千円	79,500 千円	2,317 千円	
主 体			2,462 千円	
特 定			1,519 千円	
財 源			1,098 千円	
予 算 流 用 (増減) 額		291 千円	予 備 費 充 用 額	千円

【事業の目的】  
スポーツ環境の整備充実のため、体育施設の適切な維持管理を推進し、施設の安全性の確保と利用の促進を図る。

【事業の概要】  
○ 旅費 特別旅費 51千円  
○ 需用費 修繕料 (体育施設修繕費) 147千円  
○ 役務費 手数料・火災保険料 (公有建物共済分負担) 383千円  
○ 委託料 土地建物鑑定評価委託料 291千円  
学校開放事業委託料 5,944千円  
○ 使用料及び賃借料 土地借上料 29,813千円  
○ 工事請負費 体育施設整備工事費 27,946千円  
三国運動公園屋内温水プール水冷子ラー更新、丸岡フィットネスセンター空調設備改修、丸岡B&G海洋センター給湯配管改修、三国グラウンド改修、三国運動公園内高圧ケーブル取替、テレビ共同受信機引込線移設 14,656千円  
○ 負担金 下水道受益者負担金 (丸岡B&G) 6,034千円  
B&G地域海洋センター連絡協議会負担金 30千円  
指定管理者修繕料負担金 8,592千円  
○ 補償金 269千円  
体育施設周辺補償費

【事業の成果と改善点等】  
各体育施設について、適時修繕を行うなど適正な維持管理に努め、利用者満足度の向上に努めた。また、体育施設の老朽化に伴い施設の統廃合を含めた整備の検討が必要である。

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 03 体育施設費	決 算 書 P. 221
大 事 業	001 体育施設管理事業			所管 教育委員会事務局 部局 生涯学習スポーツ課
中 事 業	06 体育施設指定管理事業			
予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額	
	220,764 千円	220,764 千円	0 千円	
前年度	220,764 千円	220,764 千円	0 千円	
主な 特定 財源				千円 千円 千円

【事業の目的】  
坂井市内の体育施設について指定管理者制度を導入することにより、民間の専門的な技術を活用した利用者サービスの向上と最適な施設の維持管理を図ること、市民のスポーツ活動を促進する。

【事業の概要】  
坂井市内44の体育施設のうち、三国運動公園屋内温水プール、丸岡フィットネスセンター及び丸岡B&G海洋センターの3施設については、アクアスポーツ株式会社、残りの41施設については、公益財団法人坂井市体育協会が、三国体育館、丸岡体育館、春江体育館及び坂井体育館を拠点として管理運営を行なった。

指定管理者名	H25	H26	H27
丸岡B&Gフィットネス・三国屋内温水プール	26,065人	27,378人	26,086人
坂井市体育施設	533,898人	609,639人	589,674人
合 計	559,963人	637,012人	615,760人

○委託料（指定管理者委託料）  
坂井市屋内温水プール・フィットネスセンター 220,764千円  
坂井市体育施設 40,935千円  
179,829千円

【事業の成果と改善点等】  
指定管理者による民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の削減を図られた。昨年度同様に平成25年度から丸岡B&G海洋センター・フィットネスセンターと三国運動公園屋内温水プールを一括募集した中で、更なるスケールメリットによる市民の利便性の向上、事務の効率化及びコスト削減が図られた。

予 算 款	03 民生費	項 01 社会福祉費	目 05 老人福祉施設費	決 算 書 P. 108
大 事 業	101 高齢者福祉施設事業			所管 教育委員会事務局 部局 国体推進課
中 事 業	01 高齢者福祉施設等管理事業			
予 算 額	当初	補5号	決 算 額	不 用 額
	23,908 千円		22,256 千円	1,652 千円
前年度	25,908 千円		21,637 千円	4,271 千円
主な 特定 財源				千円 千円 千円

【事業の目的】  
三国運動公園健康管理センターの管理運営を行う。

【事業の概要】  
◆三国健康管理センター管理運営事業  
○需用費  
消耗品費 36千円  
燃料費 1,000千円  
光熱水費 13,231千円  
修繕料 948千円

○役員費 173千円  
手数料 153千円  
火災保険料 20千円  
○委託料 3,228千円  
○使用料及び賃借料 76千円  
○工事請負費 3,564千円

【事業の成果と改善点等】  
三国運動公園健康管理センターの温水ボイラーの入替工事や設備機器の保守点検等を実施し、施設の適正な維持管理に努めた。

※所管課の変更：高齢福祉課より移管

予算款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費
大事業	151 国体推進事業				決算書 P. 218
中事業	01 国体推進事業				所管 教育委員会事務局 部局 国体推進課
予算額	当初	決算額	不用額		
前年度	10,344 千円	9,869 千円	475 千円		
主な特定財源	2,700 千円	2,700 千円	0 千円		

【事業の目的】平成30年開催の福井しあわせ元気国体に向け、平成29年開催のブレ大会、平成30年開催の本大会を円滑で具体的に計画するため、坂井市準備委員会から坂井市実行委員会に移行をし、効率よく効果的な準備計画を策定する。

- 【事業の概要】
- 賞金 2,159千円
  - 臨時職員賃金 214千円
  - 需用費 8千円
  - 役員費 133千円
  - 委託料 209千円
  - 使用料及び賃借料 498千円
  - 工事請負費 178千円
  - 備品購入費 1,478千円
  - 負担金 5,000千円

福井しあわせ元気国体坂井市実行委員会負担金  
 総務費（委員会費、事務局費）  
 坂井市準備委員会、坂井市実行委員会、各種専門委員会の開催  
 開催準備費（先権地等調査費、広報啓発費）  
 岩手リハーサル大会視察  
 和歌山国体・大会視察、概要説明会に参加  
 啓発用看板の設置、啓発用品の購入

【事業の成果と改善点等】平成27年9月より福井しあわせ元気国体坂井市実行委員会となり、福井国体の広報啓発や先権地の視察研修を行った。今後更にも市民に広報するとともに、準備計画の細部にわたって協議する必要がある。

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	08 文化振興費
大事業	001 文化振興事業				決算書 P. 209
中事業	01 文化振興事業				所管 教育委員会事務局 部局 文化課
予算額	当初 補4号	決算額	不用額		
前年度	3,368 千円	2,338 千円	1,030 千円		
主な特定財源	710 千円	632 千円	78 千円		
	使用料 春江陶芸工房使用料 40 千円				
	県支出金 観光施設等無線LAN整備事業補助金 856 千円				

【事業の目的】全国大会に出場する市民に対し、大会での活躍を激励することにより、文化芸術の向上を図る。また、市民が主体となって活動する「坂井市文化未来会議」を開催し、文化活動の振興を図る。

- 【事業の概要】
- 報償費 157千円
  - 需用費 221千円
  - 役員費 7千円
  - 委託料 2千円
  - 使用料及び賃借料 5千円
  - 負担金 214千円
  - 賞金 7千円
  - 臨時職員賃金 250千円
  - 備品購入費 417千円
  - 負担金 122千円
  - 工事請負費 295千円
  - 総務費 無線LAN設置工事費（丸岡城、手紙の館、龍翔館）1,286千円

【事業の成果と改善点等】本年は、30名の全国大会出場者に激励金を贈り、大会での活躍を激励した。坂井市文化未来会議では、滋賀県に先進地視察を行い、学校と美術館・博物館の連携について研修を行った。（研修1回、会議3回）今後も、子ども頃から文化に触れ、学べる環境づくりや次世代の人材育成・ネットワーキングのに向けて、創発する意見を集め、市の文化未来文化未来会議視察：10月13日開催 草津市立者上小学校 MIHO MUSEUM

【事業の美観等】

指標名	平成27年度	平成26年度
全国大会出場者	30人	56人



予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費									
大事業	001	文化振興事業	決 算 書 P. 209									
中事業	11	文化活動支援事業	所管 部局 教育委員会事務局 不 用 額 文化課									
予算額	当初	決 算 額	不 用 額									
前年度	38,200 千円	38,196 千円	4 千円									
主な 特定 財源	38,200 千円	37,943 千円	257 千円									
<p>【事業の目的】 優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や、発表する場を提供することで、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進する。</p> <p>【事業の概要】 ○委託料 ・公演業務委託料(坂井市文化振興事業団(26事業) 32,000千円 ・市民文化創造企画支援事業委託料 1,200千円 ・文化祭業務委託料 4,996千円</p> <p>【事業の成果と改善点等】 公演事業では、クラシック、落語、演劇、ポップスなど、様々なジャンルの事業を開催。また市民参加・育成型の公演を実施し、文化ホールに親しんでもらう工夫を凝らした事業を展開した。文化祭事業では、実行委員会へ委託し、市内各高校からの作品展示や三國高校書道部による揮毫パフォーマンスなどが行われるなど若年層の参加を促した。市民の文化方向上を目指すとともに、総合文化祭の運営について検討していく。</p>												
<p>【事業の実績等】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>平成27年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公演事業入場率 (入場者数/設定席数)</td> <td>78.4%</td> <td>87.2%</td> </tr> <tr> <td>文化祭来場者数</td> <td>12473人</td> <td>11,487人</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	平成27年度	平成26年度	公演事業入場率 (入場者数/設定席数)	78.4%	87.2%	文化祭来場者数	12473人	11,487人
指標名	平成27年度	平成26年度										
公演事業入場率 (入場者数/設定席数)	78.4%	87.2%										
文化祭来場者数	12473人	11,487人										

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費															
大事業	001	文化振興事業	決 算 書 P. 209															
中事業	06	文化団体補助事業	所管 部局 教育委員会事務局 不 用 額 文化課															
予算額	当初	決 算 額	不 用 額															
前年度	26,349 千円	21,989 千円	4,360 千円															
主な 特定 財源	29,067 千円	28,154 千円	913 千円															
<p>【事業の目的】 地域性豊かな伝統文化の継承と、文化活動の振興を図ることを目的に、公益財団法人丸岡文化財団、及び坂井市文化協会が実施する文化活動事業を支援する。</p> <p>【事業の概要】 ○補助金 丸岡文化財団運営補助金 21,989千円 坂井市文化協会事業補助金 19,389千円 2,600千円</p> <p>【事業の成果と改善点等】 坂井市文化協会は、総合芸術展や子ども文化祭、郷土芸能祭を開催し、幅広い層から出展があり、文化振興に大いに寄与した。また次世代の育成や継承に努めた。丸岡文化財団は、今年度も一筆啓上賞、梨一賞など文学賞によるまちづくり事業を推進した。また子ども歌舞伎では市制10周年記念公演に向けた歌舞伎ワークショップを開催した。今後も文化活動の振興と、地域の特色ある文化の発信を図っていく。</p>																		
<p>【事業の実績等】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>平成27年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化協会会員数</td> <td>2,609人</td> <td>2,888人</td> </tr> <tr> <td>子ども文化祭参加団体</td> <td>26団体</td> <td>26団体</td> </tr> <tr> <td>一筆啓上賞応募数</td> <td>27,657通</td> <td>33,236通</td> </tr> <tr> <td>梨一賞応募数</td> <td>1,697句</td> <td>1,629句</td> </tr> </tbody> </table> <p>かまほこ坂の絵とのコラボ展開催：13日間 西武福井店</p>				指標名	平成27年度	平成26年度	文化協会会員数	2,609人	2,888人	子ども文化祭参加団体	26団体	26団体	一筆啓上賞応募数	27,657通	33,236通	梨一賞応募数	1,697句	1,629句
指標名	平成27年度	平成26年度																
文化協会会員数	2,609人	2,888人																
子ども文化祭参加団体	26団体	26団体																
一筆啓上賞応募数	27,657通	33,236通																
梨一賞応募数	1,697句	1,629句																

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費
大事業	001	文化振興事業	決算書 P. 209 教育委員会事務局 文化課
中事業	16	一筆啓上手紙資料館建設事業	
予算額	当初	決算額	不用額
前年度	245,410 千円	241,302 千円	4,108 千円
主な	369,152 千円	123,636 千円	245,516 千円
特定	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	68,646 千円
財源	市債	合併特例事業債	103,100 千円
	その他	城周辺整備基金繰入金	64,094 千円
【上記決算額内訳】			
当該年度分	予 算 額	決 算 額	0 千円
前年度繰越分	繰越分予算額	繰越分決算額	241,302 千円
【事業の目的】 地域独自の手紙文化を全国に発信し、丸岡城観光の充実と誘客につなげ、地域の活性化を図るため、全国的に知られた「日本一短い手紙 一筆啓上賞」に寄せられた作品や、愛媛県西予市のかまほこ板の絵とのコラボ作品の展示を行う「坂井市一筆啓上日本一短い手紙の館」の建設を行った。			
【事業の概要】			
○需用費 消耗品費（展示用消耗品費） 341千円			
○役務費 建設工事を完了検査手数料、排水設備工事検査手数料 42千円			
○委託料			
・手紙資料館監理業務委託料 7,700千円			
・展示ソフト制作業務委託料 5,346千円			
・映像制作業務委託料 8,953千円			
・展示台制作業務委託料 400千円			
○工事請負費			
・一筆啓上手紙資料館建設工事（建築） 133,164千円			
・一筆啓上手紙資料館建設工事（電気） 19,958千円			
・一筆啓上手紙資料館建設工事（設備） 13,776千円			
・一筆啓上手紙資料館石積工事 12,220千円			
・一筆啓上手紙資料館展示工事 22,507千円			
・一筆啓上手紙資料館展示工事（電気） 8,197千円			
・丸岡図書館駐輪場移設工事 3,199千円			
○備品購入費 施設用備品購入費 5,499千円			
【事業の成果と改善点等】 地域文化の発信拠点として平成26年11月11日に着工、木造二階建て、建物の周囲に野面積みの石垣をめぐらし、城周辺の雰囲気と合うよう外観に配慮した。常設展示室、企画展示室、中庭、古城展望室を配置し、映像を駆使した展示方法に工夫を凝らした。7月31日に完成し、8月23日に開館記念式典を挙行了した。			

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費
大事業	001	文化振興事業	決算書 P. 209 教育委員会事務局 文化課
中事業	21	一筆啓上手紙資料館管理運営事業	
予算額	当初	補1号	決算額
前年度	28,979 千円	0 千円	26,222 千円
主な	0 千円	0 千円	0 千円
特定	使用料	一筆啓上日本一短い手紙の館入館料	1,282 千円
財源			千円
			千円
予算流用（増減）額		△ 371 千円	予備費充用額
【事業の目的】 丸岡城初代藩主本多成重に関連する「一筆啓上賞日本一短い手紙」に寄せられた作品の展示や、愛媛県西予市のかまほこ板の絵とのコラボ作品の展示等を行う「一筆啓上日本一短い手紙の館」を運営し、地域独自の文化振興と、市民交流や丸岡城観光の充実を図る。			
【事業の概要】			
○報償費（視察謝礼、記念品） 130千円			
○旅費（開館式典来賓旅費） 145千円			
○需用費 2,009千円			
・消耗品費（施設管理用消耗品） 38千円			
・食糧費（行事等賄、来賓用賄） 65千円			
・印刷製本費（ポスター・パンフレット等印刷） 893千円			
・光熱水費（電気料、上下水道料） 1,013千円			
○役務費 手紙の館火災保険料 111千円			
○委託料 22,920千円			
・工レベーター保守点検委託料 156千円			
・警備保障委託料 349千円			
・事業運営委託料 21,380千円			
・清掃委託料 562千円			
・イベント事業委託料 298千円			
・電気保安、消防設備保守点検、写真撮影業務委託料 175千円			
○使用料及び賃借料 907千円			
・トマホーク防火装置料 369千円			
・防犯カメラリース料 515千円			
・被服等借上料 23千円			
【事業の成果と改善点等】 一筆啓上日本一短い手紙の館の開館記念式典を8月23日に行った。手紙の館の運営を、公益財団法人 丸岡文化財団に委託し、一筆啓上賞作品等の展示や、企画展を実施する。また、丸岡城との連携を図り、地域のにぎわいを創出する。			
【事業の実績等】			
指標名		平成27年度	
手紙の館入館者		12,433人	※ 8月～3月の入館者数

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費
大事業	051 文化施設管理運営事業		決算書 P. 211 教育委員会事務局
中事業	02 文化の森・文化未来館管理運営事業		所管 部局 文化課
予算額	当初 補4号	決 算 額	不 用 額
前年度	123,094 千円	119,616 千円	3,478 千円
主な 特定 財源	183,466 千円	176,915 千円	6,551 千円
予算流用(増減)額		△ 1,401 千円	予備費充用額 千円

【事業の目的】  
文化施設の適切な維持管理を行うとともに、市民の文化活動の振興と、文化的資質の向上を図る。

【事業の概要】

- ◆文化の森・文化未来館管理運営事業 本庁 119,485千円
  - 需用費 施設等修繕料 1,263千円
  - 役務費 ハートピア春江・みくに文化未来館火災保険料 205千円
  - 委託料
    - ・みくに文化未来館外壁調査業務委託料 99,866千円
    - ・坂井市文化施設指定管理者委託料 2,251千円
- 賃借料及び賃借料 文化の森敷地借上料(18,875㎡) 97,615千円
- 工事請負費
  - ・みくに文化未来館空調設備中央監視盤更新工事 3,820千円
  - ・ハートピア春江小ホール屋上防水改修工事 14,331千円
  - ・ハートピア春江江小ホール屋上防水改修工事 3,348千円
  - ・ハートピア春江電話交換機設備更新工事 7,742千円
  - ・その他修繕工事 2,916千円
  - ・その他修繕工事 325千円

- ◆省エネ対策事業 本庁 131千円
  - 使用料及び賃借料 テマンド監視システム使用料 131千円

【事業の成果と改善点等】

ハートピア春江、みくに文化未来館は共に施設老朽化が進んでおり、今年度はハートピア春江の電話交換機やみくに文化未来館の空調設備中央監視盤の更新などを行った。今後、市民の文化芸術活動の拠点として、その特性を活かしながら、市民の文化の向上を目指した運営を推進していく。

【事業の実績等】

指標名	平成27年度	平成26年度
ハートピア春江入館者	111,126人	110,055人
みくに文化未来館入館者	67,435人	42,891人

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費
大事業	051 文化施設管理運営事業		決算書 P. 211 教育委員会事務局
中事業	21 みくに龍翔館管理運営事業		所管 部局 みくに龍翔館
予算額	当初 補1号	決 算 額	不 用 額
前年度	25,980 千円	22,804 千円	3,176 千円
主な 特定 財源	35,725 千円	32,571 千円	3,154 千円
予算流用(増減)額		922 千円	予備費充用額 千円

【事業の目的】

坂井市の歴史についての関心を高め、健全な教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、歴史的文化的遺産を市民共有の財産として適正に収集、保管する。

【事業の概要】

- ◆みくに龍翔館管理運営事業 本庁 20,706千円
  - 賃借料 臨時職員賃金(2名) 4,413千円
  - 報償費 講師謝礼、協力者謝礼、委員謝礼、指導謝礼 356千円
  - 必要費
    - ・消耗品費(事務用消耗品等) 6,518千円
    - ・燃料費(重油・ガソリン・LPガス) 363千円
    - ・食糧費(来客用膳) 1,462千円
    - ・印刷製本費(ポスター・パンフレット・資料印刷) 10千円
    - ・光熱水費(電気・水道料) 269千円
    - ・修繕料(施設等修繕・公用車修繕) 3,880千円
    - 役務費 534千円
    - 委託料
      - ・通信運搬費(郵便料・電話料) 621千円
      - ・手数料(公用車車検手数料・入館者幹旋手数料等) 204千円
      - ・保険料(火災、自動車保険料等) 141千円
      - ・工レバーター改修設計委託料 276千円
      - ・その他委託料(ILV-カ・空調等保守、警備、テラ燻蒸等) 8,009千円
      - 使用料及び賃借料(事務機器借上料・山車借上料他) 389千円
      - 備品購入費(施設用備品・展示用備品・図書購入) 614千円
      - 負担金(博物館協会等負担金) 152千円
      - 公課費(公用車重量税) 10千円
      - 公課費(公用車重量税) 13千円

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 08 文化振興費	決 算 書
大事業	051	文化施設管理運営事業		P. 211 教育委員会事務局 みくに龍翔館
中事業	21	みくに龍翔館管理運営事業		
…【前頁より】				
◆みくに龍翔館展示事業 本庁 2,098千円				
○報償費 483千円				
○旅費 82千円				
○需要費 860千円				
・消耗品費（事務用消耗品等） 57千円				
・印刷製本費（ポスター・パンフレット等印刷） 803千円				
○役員費 646千円				
・運搬料 27千円				
・編纂手数料、展示資料等損害保険料				
【事業の成果と改善点等】				
施設の老朽化への対応と坂井市の総合博物館づくりを進めるため、検討委員会を立ち上げ、リニューアル事業に着手した。				
平成25年度から継続してきた内田環家文書約7,500点の整理し、特別展・講演会の開催と日録発行を実施。三國湊に関する貴重な歴史資料の利活用を行った。				
○郷土史研究講座				
第1講 講師「幕末維新期の福井藩と内田家—三國湊の豪商 内田家—」				
講師 本川幹男氏（元福井県史調査執筆者）				
10月25日（日）参加者83人				
第2講 講師「継体天皇と三尾氏・三國氏—振姫墓をめぐって—」				
講師 堀大介氏（越前町織田文化歴史館学芸員）				
3月19日（土）参加者75人				
○企画展				
春の企画展「没後50年記念 高見順という作家」				
4月25日（土）～5月31日（日）入館者数1,924人				
夏の企画展「海女の手仕事 三國の刺子」				
7月23日（土）～8月31日（月）入館者数1,718人				
○特別展				
第29回特別展「三國湊の豪商 内田家」				
10月31日（土）～11月29日（日）入館者数1,685人				
○資料発行				
『内田環家文書目録』 平成28年3月31日発行 280頁500冊				
『みくに龍翔館研究紀要 第10号』平成28年1月31日発行 79頁				
○みくに龍翔館リニューール検討委員会（9名）				
第1回委員会 平成28年1月14日（木）開催				

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育	目 08 文化振興費	決 算 書
大事業	051	文化施設管理運営事業		P. 213 教育委員会事務局 みくに龍翔館
中事業	26	ONOメモリアル管理運営事業		
予算額	当初	決算額	不用額	
前年度	1,740千円	1,588千円	152千円	
主たる財源	3,093千円	1,412千円	1,681千円	
予算流用（増減）額		130千円	予備費充用額	
【事業の目的】				
故小野忠弘氏の住宅兼アトリエの保存・活用を図るとともに、市民の現代美術に関する感性と創作意欲の向上に寄与する。				
【事業の概要】				
○報償費 228千円				
・指導謝礼（こどもが描くふるさと坂井絵画展） 152千円				
・賞品（こどもが描くふるさと坂井絵画展） 76千円				
○需用費 359千円				
・消耗品（施設管理消耗品・大行事消耗品） 36千円				
・印刷製本費（賞状・ポスター・パンフレット印刷） 13千円				
・光熱水費（電気料・水道料） 310千円				
○役員費 81千円				
・通信運搬料（電話料） 69千円				
・火災保険料 12千円				
○委託料 920千円				
・警備保障委託料 181千円				
・施設管理委託料 601千円				
・樹木等管理委託料 40千円				
・筆耕委託料 25千円				
・清掃委託料 65千円				
・イベント委託料 8千円				
【事業の成果と改善点等】				
次年度予定の高校生現代アートビエンナーレ実行委員会を立ち上げ、2回の実行委員会を開催。展示会場を3ヶ所から5ヶ所に拡大して事業の充実を図るとともに、周知・広報の準備を行った。				
また、「こどもが描くふるさと坂井絵画展」では、坂井市内の小学生から2,282点の応募があった。その中から、入賞作品200点をみくに龍翔館において展示した。				
【事業の実績等】				
第9回「こどもが描くふるさと坂井絵画展」				
9月26日（土）～10月18日（日）会場：みくに龍翔館 入館者1,565人				

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 09 文化財保護費	決 算 書 P. 213
大事業	001 文化財保護審議会運営事業			所管 教育委員会事務局 部局 文化課
中事業	01 文化財保護審議会運営事業			
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
	235 千円	189 千円	46 千円	
前年度	236 千円	188 千円	48 千円	
主な 特定 財源				千円 千円 千円
予算流用(増減)額		1 千円	予備費充用額	千円

【事業の目的】  
新たな文化財の指定や解除に関する諮問や、市の文化財保護施策に関する討議などを通して、文化財の保護を図る。

- 【事業の概要】
- 報酬 184千円
  - 旅費 1千円
  - 需用費 4千円
- 文化財保護審議会委員報酬(8名)  
文化財保護審議会委員費用弁償  
食糧費(文化財保護審議会お茶代)

【事業の成果と改善点等】  
豊原寺木造阿彌陀如来坐像・薬師如来坐像を市指定文化財に新規指定するよう教育委員  
会に啓申を行ったほか、指定・登録文化財について候補の審議を引き続き行っている。

【事業の実績等】

委員数	会議開催数
9名	4回 (現地調査1回含む)

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 09 文化財保護費	決 算 書 P. 213
大事業	051 文化財保存管理事業			所管 教育委員会事務局 部局 文化課
中事業	01 文化財保存管理事業			
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
	21,438 千円	16,894 千円	4,544 千円	
前年度	26,147 千円	24,671 千円	1,476 千円	
主な 特定 財源	国重要文化財保存整備補助金 物品売却収入			117 千円 41 千円 千円
予算流用(増減)額		△466 千円	予備費充用額	千円

【事業の目的】  
文化財の保存管理に必要な措置を講じ、貴重な文化財を後世に伝えるため、広く市民への公開や活用を通して、文化財保護意識の啓発を行う。

- 【事業の概要】
- 報酬費 470千円
  - 旅費 26千円
  - 特別旅費 229千円
  - 需用費 79千円
  - 役務費 150千円
  - 委託料 1,805千円
  - 使用料及び賃借料 226千円
  - 工事請負費 8,872千円
  - 負担金 75千円
  - 補助金 4,974千円
- 文化財管理奨励金  
文化財保存管理事業補助金  
文化財保存活動事業費補助金  
指定文化財保存事業費補助金
- ・文化財保存管理事業
  - ・特別旅費
  - ・光熱水費(出世山古墳公園等電気・上下水道料)
  - ・修繕料(丸岡城漆喰壁修理)
  - ・力モシカ処理手数料
  - ・丸岡城園運施設・出世山古墳公園火災保険料
  - ・丸岡歴史民俗資料館寄託資料損害保険料
  - ・丸岡城園連施設指定管理委託料
  - ・古墳公園等トイレ清掃、草刈剪定業務委託料
  - ・榎山古墳枯木(松)伐採処分業務委託料
  - ・出世山古墳公園、銅鐸出土記念碑敷地借上料
  - ・画像編集用パソコンリース賃借料
  - ・有料道路通行料
  - ・丸岡城防火水槽封入及び既存ポンプ室解体工事
  - ・六呂瀬山古墳群駐車場フェンス設置工事
  - ・文化財看板設置工事
  - ・全史協北信越地区協議会負担金外3件
  - ・市指定無形文化財保存活動事業費補助金
  - ・指定文化財保存事業費補助金

【次頁へ】

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 09 文化財保護費												
大 事 業	051 文化財保存管理事業		決 算 書 P. 213 教育委員会事務局 文化課												
中 事 業	01 文化財保存管理事業														
…【前頁より】															
【事業の成果と改善点等】 重要文化財厚川家住宅の防災施設を新設し、文化財の防火対策強化を図った。県指定の瀧谷寺本堂ならびに称念寺巻子本浄土三部経の修理を行い、文化財の維持・継承に努めた。今後とも文化財保存管理計画を計画的に行なっていく。															
【事業の実績等】 文化財補助件数															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>平成27年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>無形文化財活動補助件数</td> <td>8件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>指定文化財保存事業補助件数</td> <td>5件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>文化財管理奨励金件数</td> <td>37件</td> <td>35件</td> </tr> </tbody> </table>		指標名	平成27年度	平成26年度	無形文化財活動補助件数	8件	8件	指定文化財保存事業補助件数	5件	3件	文化財管理奨励金件数	37件	35件
指標名	平成27年度	平成26年度													
無形文化財活動補助件数	8件	8件													
指定文化財保存事業補助件数	5件	3件													
文化財管理奨励金件数	37件	35件													

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 09 文化財保護費
大 事 業	051 文化財保存管理事業		決 算 書 P. 215 教育委員会事務局 文化課
中 事 業	11 埋蔵文化財発掘調査事業		
予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額
	8,061 千円	5,673 千円	2,388 千円
前年度	8,521 千円	7,822 千円	699 千円
主な特定財源	埋蔵文化財調査費補助金		
予算流用(増減)額		415 千円	予備費弁用額
			千円
			千円
			千円
【上記決算額内訳】			
当該年度分	予 算 額	8,061 千円	決 算 額
		872 千円	5,673 千円
【事業の目的】 丸岡城跡について、石垣の残り具合など、遺構確認の調査を行い保存活用を図る。また、埋蔵文化財の破壊や滅失を防止、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査成果を広く公開し、文化財保護意識の向上と啓発を図る。			
【事業の概要】			
○ 賞金	丸岡城石垣発掘作業員賞金		
○ 需用費	1,016千円		
	142千円		
	135千円		
	7千円		
○ 委託料	2,858千円		
	933千円		
	550千円		
	90千円		
	1,285千円		
○ 使用料及び賃借料	測量機器等借り上げ料		
○ 公有財産購入費	六呂瀬山古墳群アセス道路用地購入費		
○ 補償費	六呂瀬山古墳群アセス道路用地立竹木補償費		
	526千円		
	140千円		
	991千円		
【事業の成果と改善点等】 六呂瀬山古墳群について、古墳入口までの登山道確保のための境界確認を行い、用地を取得した。また、丸岡城跡の内容確認を目的として、平成25年度から5ヵ年計画で調査を継続して行っており、今年度は天守前の広場の発掘調査を行った。			
【次頁へ】…			

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存管理事業				決算書 P. 215			
中事業	11	埋蔵文化財発掘調査事業				所管 部局	教育委員会事務局	文化課	

…【前頁より】

【事業の実績等】

埋蔵文化財発掘調査等実施状況

指標名	平成27年度	平成26年度	備考
発掘届受付件数	64件	61件	
試掘調査実施件数	14件	16件	
調査面積	529.75㎡	643.75㎡	丸岡城跡を除く
内容確認遺跡数	61件	51件	試掘件数+工事立会い件数

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	09	丸岡城周辺整備基金費
大事業	001	丸岡城周辺整備基金				決算書 P. 227			
中事業	01	丸岡城周辺整備基金				所管 部局	教育委員会事務局	文化課	
予算額	当初			決算額			不 用 額		
		142千円		119千円				23千円	
前年度		218千円		153千円				65千円	
主な 特定 財源	財源収入	城周辺整備基金利子						119千円	千円

【事業の目的】

丸岡城周辺の整備及び丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金を設置する。

【事業の概要】

丸岡城周辺整備基金に係る運用益等の積立を行う。

○積立金

・城周辺整備基金積立金（預金利息）

119千円

平成26年度末 現在高 ①	190,005千円	平成27年度中増減額 取崩額 ②	0千円	積立額 ③	119千円	平成27年度末 現在高①-②+③	190,124千円
------------------	-----------	---------------------	-----	-------	-------	---------------------	-----------

【事業の成果と改善点】

利子分を積み立て、適切に基金管理を行った。

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	09 文化財保護費
大事業	051	文化財保存管理事業			決算書 P. 215
中事業	16	丸岡城国宝化推進事業			所管 部局 教育委員会事務局 丸岡城国宝化推進室
予算額	当初	補3号	決算額	不用額	
前年度	6,641千円	0千円	4,542千円	2,099千円	
主な 特定 財源	県支出金	丸岡城天守塔調査事業補助金		1,100千円	
予算流用(増減)額			50千円	予備費充用額	千円
【事業の目的】 丸岡城の国宝化に向けて、丸岡城の歴史的価値を明らかにするための調査研究を行う。 また収集した資料等を市民に公開し、市民の丸岡城に対する認識を高めていく。					
【事業の概要】					
○賃金	(臨時職員賃金)			1,753千円	
○報償費				426千円	
	・丸岡城調査研究委員会手土産代		5千円		
	・丸岡城調査研究委員会委員出席報償費		173千円		
	・調査謝礼、指導謝礼等		248千円		
○旅費				397千円	
	・費用弁償 (委員交通費、現地調査旅費等)		270千円		
	・特別旅費 (出張旅費)		127千円		
○需用費				331千円	
	・消耗品費 (整理作業用具、事務用消耗品)		106千円		
	・燃料費 (LPガス、灯油代)		24千円		
	・食糧費 (会議お茶)		4千円		
	・光熱水費 (電気、水道料)		173千円		
	・修繕料		24千円		
○役務費	・通信運搬費	電話料		59千円	
○委託料				1,471千円	
	・カラー複合機保守点検委託料		75千円		
	・丸岡城建築部材等放射性炭素年代測定業務委託料		1,318千円		
	・丸岡城修理工事実測図・竣工図デジタルデータ作成委託料		78千円		
○使用料及び賃借料				105千円	
	・有料道路通行料		11千円		
	・コピー機リース料		94千円		
【事業の成果と改善点】 丸岡城調査研究委員会を設置し2回開催した。昭和15年から17年に修理を行った際の記録写真の乾版が発見されたことにより、屋根がけら葺であったことなど新たな発見があった。今後、建築部材の詳細な調査や、古地図、古文書等の調査を行い、丸岡城の学術的価値を明らかにしていく。					

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	12 図書館費
大事業	001	図書館管理運営事業			決算書 P. 215
中事業	01	図書館管理運営事業			所管 部局 教育委員会事務局 図書館
予算額	当初	補2号	決算額	不用額	
前年度	110,338千円		108,847千円	1,491千円	
主な 特定 財源	諸収入	図書カード再交付・コピー代 他		2,440千円	
	諸収入	図書弁償金		198千円	
	諸収入	廃棄図書売却代		63千円	
	諸収入			54千円	
【事業の目的】 地域の情報拠点施設として4つの公共図書館を運営し、読書普及や情報サービスを提供することにより、地域や住民に役立つ図書館事業を推進する。					
【事業の概要】					
○報酬		図書館協議会委員 (9名)		90千円	
○賃金		臨時職員 (19名)		41,570千円	
○報償費		(各館行事講師謝礼246千円、図書館協力者謝礼110千円)		356千円	
○旅費				0千円	
○需用費				13,857千円	
		(消耗品費8,246千円、燃料費165千円、食糧費8千円)			
		(印刷製本費598千円、光熱水費4,212千円、修繕料628千円)			
○役務費				1,228千円	
		(通信運搬費836千円、手数料200千円、火災保険料38千円)			
		(自動車保険料154千円)			
○委託料				9,507千円	
		(警備保障283千円、清掃2,471千円、図書配送581千円)			
		(図書館システム保守点検4,348千円、各種保守点検1,564千円)			
		(子どもの読書活動推進事業講演会260千円)			
○使用料及び賃借料				10,259千円	
		(通信料269千円、公用車リ-350千円、北'-機リ-232千円)			
		(図書館管理汎用6,562千円、図書マ-2,581千円、他265千円)			
○工事請負費				7,978千円	
		(丸岡図書館外壁改修工事6,585千円)			
		(丸岡図書館駐車場舗装工事1,393千円)			
○備品購入費				23,938千円	
		(施設用備品261千円、図書館用図書購入23,660千円)			
		(防災用備品17千円)			
【次頁へ】...					



予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 12 図書館費
大 事 業	001 図書館管理運営事業		決 算 書 P. 215.
中 事 業	01 図書館管理運営事業		所 管 部 局 教育委員会事務局 図書館

…【前頁より】  
 ○負担金 39 千円  
 (県図書館協会2千円、日本図書館協会37千円)  
 ○公課費 25 千円  
 (自動車重量税25千円)

【利用状況】  
4館合計

項目	平成27年度	平成26年度
来館者数 (人)	494,258	487,294
貸出人数 (人)	212,761	208,541
貸出冊数 (冊)	839,430	830,568

【子どもの読書活動推進事業】

項目	平成27年度	平成26年度
近藤信子氏講演会 (人)	70	谷川俊太郎氏講演会 420
時田史郎氏講演会 (人)	59	
ブックスタート (人)	627	326 (10月から)
おはなし会 (人)	4,438	4,226

【事業の成果と改善点等】  
 市民が親しみを持てる図書館をめざし、くらしや趣味などに役立つ情報や資料の収集、整備、保存に努めた。また、市内4館のネットワークや図書館間相互貸借を活用しながら、必要な情報や資料の提供を行った。さらに、多くの図書館行事を通じ、利用者の増加を図った。  
 子どもの読書活動推進事業においては、近藤信子氏、時田史郎氏を迎え講演会を開催し、子どもの読書活動推進について多くを学んだ。昨年度よりスタートしたブックスタート事業は、乳児の保護者やその家族から好評を得て利用者の増加につながった。おはなし会等を通して、子どもたちへのさらなる読書活動推進の充実をめざした。  
 施設・設備面においては、丸岡図書館の外壁改修工事、駐車場舗装工事等を行い、快適な施設の維持管理に努めた。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 12 図書館費
大 事 業	051 記念文庫等管理運営事業		決 算 書 P. 217
中 事 業	01 記念文庫等管理運営事業		所 管 部 局 教育委員会事務局 図書館
予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額
前年度	1,174 千円	1,106 千円	68 千円
主 な 特 定 財 源	604 千円	536 千円	68 千円

【事業の目的】

中野重治記念文庫及び小葉田淳記念文庫の蔵書、遺品の維持管理・収蔵を行うとともに、記念講演会や行事を開催して、郷土の誇れる文学や歴史を次代に継承する。

【事業の概要】

- 報償費 講師謝礼85千円、出演者謝礼14千円
- 費用弁償 講師用旅費47千円
- 需用費 (消耗品費41千円、食糧費9千円、印刷製本費120千円)  
 (光熱水費14千円、修繕料218千円)
- 役務費 トイレ及びみ取り料 3 千円
- 委託料 生家跡樹木剪定業務等委託料 331 千円
- 使用料及び賃借料 生家跡仮設トイレ借上料 119 千円  
 (トイレ借り上げ料32千円、防犯カメラリース料87千円)
- 備品購入費 書架100千円 100 千円
- 負担金 中野重治の会負担金 5 千円

【行事の開催】

- ・くちなし忌 8月22日(土)  
 式典、詩の朗読他 場所 中野重治生家跡 参加者60名  
 記念講演 演題 「挨拶する詩人—中野重治の世界—」  
 講師 北川 透氏 (詩人・評論家)  
 場所 たかむく古城ホール 参加者126名
- ・小葉田淳記念文庫講演会 11月14日(土)  
 演題 「古代、白山信仰の謎〜九頭章王伝説〜」  
 講師 福井良立こども歴史文化館 館長 笠松 雅弘氏  
 場所 たかむく古城ホール 参加者104名

予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	12 図書館費
大	事	業	051	記念文庫等管理運営事業		決算書 P. 217
中	事	業	01	記念文庫等管理運営事業		所管 教育局 図書館
<p>…【前頁より】</p> <p>見学者数            中野重治記念文庫 年間 543名            小栗田清記念文庫 年間 289名            今川節の部屋 年間 314名</p> <p>【事業の成果と改善点等】            中野重治記念文庫の貴重な生原稿等の資料の保存や整理を行った。また、寄贈を受けた文庫資料の展覧会や、くちなし忌及び記念文庫講演会等、文庫関係にちなんだ講演会を実施し、市民等に郷土の偉人を顕彰した。            また、中野重治記念文庫に防犯カメラを設置し、前年度の今川節の部屋開放に続き、中野重治記念文庫も一般開放した。資料の保管について安全を図りながら、遺品や資料の閲覧、研究活動の支援に努めた。            中野重治生家跡の雨樋修繕工事を行い、施設の維持管理にも努めた。</p>						

平成27年度

坂井市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検、評価に関する意見

坂井市社会教育委員 上出嘉代子

1 教育委員会の会議開催等の状況

(1) 坂井市教育委員会委員

教育長以下5名

(3) 教育委員会会議の開催状況

14回(定例12回、臨時2回)の会議において、43件の附議事項を審議され、充分機能を果たしているものと判断できる。

2 教育委員の活動状況

多くの教育関連行事に各教育委員が出席され、市全体の教育行政の指導・推進に関わっている様子が見える。

3 委員会、審議会等の審議状況

年間計画に従い、運営されていた。

4 教育委員会関係の許認可の状況

現在までの許認可数 合計121件 (昨年118件)

今年度に入り新たに増えた部分が見える。

《 事業別施策の成果報告書 》

○教育委員会運営事業

運営事業では14回の会議が開催され、円滑な委員会が運営された。

表彰事業では、功績、功労、奨励合計30件の表彰が行われた。

○教育委員会事務局事業

教育行政の一体化、及び運営調整を図られ、省エネを意識した施設管理など評価できる。

○小学校管理事業

・小学校管理事業

市内19小学校の管理事業が適正になされていると思われる。今後ともデマンド監視サービスを有効に進めていただきたい。

・小学校施設設備事業

耐震補強工事が計画的に実施され評価できる。

○中学校管理事業

・中学校管理事業

市内5中学校の管理事業が適正になされていると思われる。

・中学校施設設備事業

市内中学校の耐震化100%となり、生徒の安全・安心が守られ、地域住民の避難場所の確保の面でも大いに評価できる。

○幼稚園管理事業

・幼稚園管理事業

市内9幼稚園の管理事業が適正になされているものと思われる。

・幼稚園施設設備事業

耐震化100%となり、園児の安全・安心が確保され大いに評価できる。

○教育相談事業

適応指導教室より復帰者も8割を超え、スクールソーシャルワーカー及び指導員の方々の努力がうかがえる。今後とも児童、生徒のみならず保護者も含めた支援体制の継続をお願いしたい。

○学校運営支援事業

児童・生徒数が減少しても、支援を要する割合は増える傾向にあり、この分野の充実は大いに評価できる。

○小学校教育振興事業

・小学校教育振興事業

教育の根幹となる分野であり、道徳や人権教育も含め充実した内容であると評価できる。英語教育についても、近い将来教科化も言われており、益々の充実を期待したい。

・小学校児童健康管理事業

適正に執行されていると思われる。

・学校生活ボランティア推進事業

教育を下支えするとても意味のある分野であり、地域との交流を深める意味でも大いに評価できる。

・ふれあい交流事業

豊かな人間性育成の面で、見聞を広めたり、体験・交流することは大切なことであると思う。

・学力充実推進事業

学力トップクラスを誇る県(市)として、日頃からのきめ細かな取り組みが評価できる。

○児童就学援助事業

就学困難な児童の保護者対策が適切にとられている。

○小学校通学支援事業

適切に執行されていると思われる。

○中学校教育振興事業

・中学校教育振興事業

各分野において時代に合った執行がなされ評価できる。特に、ICT機器の活用については、今後も大いに必要となると考えられ取り組みが期待される。

・クラブ活動推進事業

部活動、クラブ活動は人格形成上の大切な分野であると考え。その意味でも適切に執行されていると思われる。ただし、現場の教員の負担増が問題視される昨

今、指導者の外部からの導入なども検討する必要があると思われる。

○学校給食管理事業

安全・安心な食の提供、及び、食育の推進などに取り組み、大いに評価できる。

- ・三国学校給食管理事業 地場産食材を多く取り入れ、食の質の向上に努めているのがとてもよい。

- ・春江坂井学校給食管理事業 //

- ・丸岡学校給食管理事業 //

○国際交流推進事業

交際交流は、次代を担う青少年にとってとても貴重な体験となる。希望者が多いと聞くが、男子の参加者が増えることを望む。研修のための準備など大変だと思うが、内容充実のため、今後ともぜひ継続させてほしい。

○青少年健全育成事業

- ・子ども会育成事業

少子化の中にあり、地域を担う子どもの育成は大切にしたい分野である。社会教育の面からも創意工夫を凝らし、地域を越えた交流の場として盛り上げてほしい。

- ・成人式事業

8割強の参加があり、実行委員会などの積極的な取り組みが功を奏していると思われる。

- ・わんぱく少年団事業

体験を重視した年10回の中身がとてもすばらしい。人数に制限があるのはやむを得ないができるだけたくさんの子どもの体験してほしい中身である。

- ・合宿通学

小学校時代に仲間と寝食を共にする経験はとても意義があると思う。進め方や地域のボランティアなども定着してきており、今後とも坂井市の目玉行事としてぜひ継続させてほしい。

○心の家庭教育支援事業

核家族時代が進む中、家庭教育への支援やアドバイスは今後ますます必要となると思われる。益々の充実を望む。

○スポーツ推進委員運営事業

福井国体にむけて、ドッジビーの普及など益々の充実を望む。

○国体推進事業

サッカー競技、バレーボール競技会場の準備が計画的にすすめられている。市民への広報などを通して益々機運を高めてほしい。

○スポーツ振興事業

各団体への補助金や、全国大会出場者・団体への激励金など、競技スポーツ・生涯スポーツの推進につながると考える。

○文化振興事業

坂井市文化未来会議が核となって、地域文化の発掘や創造に努めてほしい。

・文化団体補助事業

市民の文化活動振興は、町づくり、地域づくりにも通じることであり、今後も大いに奨励してほしい。

・一筆啓上手紙資料館管理運営事業

8月に開館し、新たな市の財産となった。今後は利活用の促進に向けた創意ある取り組みが期待される。

○文化財保存管理事業

・丸岡城国宝化推進事業

今年度からの新たな事業だが、関係機関や専門家との連携を図りながら、年月をかけて地道な取り組みを進め、所期の目的を追求してほしい。資料・情報の公開などを通し、市民運動の高まりにもつなげてほしい。

○図書館管理運営事業

4館合計の来館者数や貸出冊・人数ともに前年より増加しており、利用者の立場に立った情報や資料の提供、魅力的な図書館行事の開催など大いに評価できる。市内4館のネットワークも好評である。

以 上

## 坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書の確認、審査

坂井市 PTA 連合会

会長 高間 正人

### 1. 平成27年度 坂井市教育委員会の活動状況

- 教育委員の設置状況は適正な人選を行い設置されていると評価します。
- 委員会会議の開催状況は、必要な時期に定例及び臨時に委員会を年14回、43件の附議事項を実施し、内容についても坂井市の教育行政の運用のために必要な内容となっており、適切な委員会活動と評価します。
- 教育委員の活動状況については、多くの教育関係行事（各種式典・会議・イベント等）に各委員が出席され、その活動内容についても高く評価します。特に、教育長におかれては、関係行事ほとんどすべてに出席され、激務をこなされていることが伺えます。三宅委員におかれては、保護者代表という立場ながら、教育委員長として積極的に活動されており、高く評価します。
- 指導主事学校訪問においても、坂井市内すべての小中学校を訪問し、教育委員として適切な示唆、指導を行ったことについて高く評価します。
- 委員会・審議会等の審議状況については、各種委員会・審議会を41回開催され、多岐にわたり多くの内容について、適正に審議されたものと高く評価します。
- 教育委員会関係の許認可の状況については、現在の国・県・市すべての指定文化財を合わせると12.1件であり、27年度に県指定1件と市指定2件が増えていることを確認しました。

### 2. 平成27年度 事業別施策の成果報告について

#### 【教育総務課関係】

- 各施設の適切なエネルギー管理に取り組み、省エネ対策事業（エアコンデマンド監視等）を実施し、省エネを意識した施設管理ができたことを評価します。
- 各学校の耐震改修工事では、児童の安全安心が図られたことはもちろん、地域住民の避難場所としての機能を確立したことを評価します。
- 放課後の児童の居場所づくりを推進し、施設の利用者が増えていることを評価します。今後、ますますスタッフと施設の充実が求められます。

#### 【学校教育課関係】

- 特別な支援を必要とする児童や生徒のための事業として、スクールソーシャルワーカーや学級サポーターの拡充や研修に取り組んでいることを評価します。
- 英語教育における小学校へのALTの配置やタブレットを導入したICT教育の推進を評価します。中学校配置の図書館司書の小学校図書館支援事業を評価します。
- 今後、ますます、専門性を持ったスタッフの配置など、人的支援による教育環境の充実に努め

ていただくことを希望します。

#### 【学校給食関係】

○学校と給食センターが児童生徒のアレルギー疾患に関する情報を把握・共有し、アレルギーにも対応した安全で安心なおいしい給食を提供していることを評価します。また、衛生管理に努め、地産地消を推進し、栄養バランスの取れた給食を提供することによる健康増進、体位向上を図るとともに食育指導等の充実が図られたことを評価します。

#### 【生涯学習スポーツ課関係】

○公民館のコミュニティセンター移行後も社会教育指導員を配置し、地域の課題や市民の要望を反映した社会教育の振興を図ったことは大変良いと思います。また、合宿通学の実行委員、子ども会壁新聞コンクールの審査、青少年健全育成推進大会、心の教育講演会等の開催で多くの市民の参加があったことについても高く評価します。

○社会教育団体等補助事業として、6団体への補助により育成と支援が図られ効果をあげられたことについて評価します。

○市民運動推進事業として、福井国体に向けての花壇コンクールの活動推進が図られたことを評価します。

○国際交流推進事業では、招へい事業を継続、充実していくことで、国際理解教育の推進になると思われま。派遣される生徒数には限りがありますが、招へい事業を通しての交流を充実していくことにより、より多くの生徒の国際理解につながっていくと思われま。国際交流体験を幅広く行うことで、生徒や市民に対し国際理解教育を進めることができたことについて多に評価します。今後、派遣される生徒数が1人でも増えることを希望します。

○子ども会育成事業では、少子化により地域の子供が減少する中で、子ども会活動として、参加しやすいドッジビー大会にしていってください。

○成人式事業では、出席率は、81.6%ということですが、一人でも多くの若者にふるさとで成人式に参加していただきたいと思いま。

○青少年育成市民会議事業の「赤ちゃん抱っこ体験学習」はすばらしい企画だと思いま。市内全中学校で取り組んでいただくことを希望します。

○放課後子ども教室推進事業は、地域のボランティアの協力のもと、子どもたちが様々な体験活動をするのできる有効な事業で、高く評価しま。

○合宿通学事業は、市内で旧町ごとに1回ずつ行われているが、体験したくてもできない児童がでてくるので、回数を増やしていただけないかと思いま。

○坂井延岡ジュニア交流事業では、より多くの子どもたちが効率的な交流事業展開をしていけるよう望みま。

○心の家庭教育支援事業の中で「子育て講座」が持たれていまりますが、親の学習会は良いことだと思いま。

○スポーツの奨励は学力とともに大変重要なことであり、よりスポーツの振興を図ることについて評価しま。



○国体推進事業では、30年の福井しあわせ元気国体に向けて体育施設の整備が進められていますが、市民に使いやすい施設にしていきたいと思います。

**【文化課関係】**

○文化団体補助事業では、市民の文化活動をより振興することは、町おこし・まちづくりにも通ずることもありより奨励していただきたいと思います。

○昨年オープンした一筆啓上手紙資料館をはじめ、ハートピア春江・みくに文化未来館・みくに龍翔館等の文化施設の稼働率や来館者数を上げるために、さまざまな魅力的な企画や工夫をしていただきたいと思います。